NEC

Aterm® WR7600H シリーズ

取扱説明書

Total 802.11 ABG ATHEROS

・本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
・「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-2ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
AtermWR7600H（以下、親機と呼びます。）は、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（CD-ROM:HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

用語解説（CD-ROM:HTMLファイル）

本書で使われている用語や、本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。

お困りのときには（CD-ROM:HTMLファイル）

本商品の利用中にトラブルが起きたときの対処法について書かれています。

※CD-ROMの操作方法について（☛P前文-17「電子マニュアルの見かた」）

お知らせ

●本文中では、Aterm WR7600H（WARPSTARベース）を親機、Aterm WL54AG、Aterm WL54TE（WARPSTARサテライト）を子機と呼びます。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- IEEE802.11a通信利用時は5.2GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
  2.4GHz帯使用のIEEE802.11b/Bluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4　　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS・OF:DS-SS方式及びOF-DM方式を示す
4　　　:想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

Windows® は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Mac、Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
AirMacは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
Netscape® は米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。
“ PlayStation® ” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
JavaScript® は米国Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
Linux® は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Acrobat® Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Atheros™ およびAtheros Driven™ ロゴは、Atheros Communications, Inc.の商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意をいただけない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返しします。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4．許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5．逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6．保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7．責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8．その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ **警　告**　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注　意**　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP **お願い**　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- ＡＣ１００Ｖの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の電源プラグは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- 電源プラグにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてご購入店または、NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いてご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- **本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**
- **本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。**
- **ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。**

その他のご注意事項

- **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**
- **植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。**
- **本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。**
- **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。**
- **ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。**

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・横向きに寝かせる（WL54TE は除く）
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注　意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- 感電防止のため、アース線の接続は必ず本商品の電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。（WL54TE は除く）
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品（WL54TE）のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ＡＶ ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで１８0m 程度（IEEE802.11a 通信時は９0m 程度）です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また、距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部にはに触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

- 無線 LAN 接続では、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ、遅くなることがあります。
- 無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線ＬＡＮ機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定がほどこされていない場合があります。
したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線ＬＡＮカードや無線ＬＡＮアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線ＬＡＮ機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線ＬＡＮの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、「Aterm インフォメーションセンター」までお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

ご参考

「機能詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM「ユーティリティ集」には本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。以下に記載されている項目を示します。電子マニュアルの見かたについては、前文-17 ページを参照してください。

目　次

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。
Macintosh の場合は、［MENU］アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。
ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする

※画面は Windows® の例です。

お知らせ

● 「機能詳細ガイド」や「用語解説」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。

■本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、メニュー画面に表示される「本 CD-ROM について」をクリックしてよくお読みください。

① パソコンに表示されるガイドに従って本商品の基本的な設定やインターネット接続のための設定などを行う「らくらくウィザード」（Windows® 版）
② 子機（無線 LAN カード）の無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
③ 子機（無線 LAN カード）用のドライバ一式（Windows® 版）
④ 機能や操作の方法などを説明している取扱説明書、機能詳細ガイドなどマニュアル類一式（PDF ファイル、HTML ファイル）（Windows® 版、Macintosh 版）

●使用上のご注意

Windows® XP/2000 Professional/Me でご使用の方

● 添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
　①Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
　②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と \Menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
　　（例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q： \Menu.exe）
　また、パソコンにより異なりますが、メニューを自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
・ ご使用のパソコンの表示色数の設定によっては表示画面上の色が乱れる場合があります。この場合はメニュー画面以外の部分（デスクトップ等）をクリックしてください。
・ CD-ROM をパソコンから取り出す時には、必ずメニューを終了させたあとに行ってください。メニューが起動中に CD-ROM を取り出すとパソコンの動作が不安定になることがあります。
・ Windows® XP/2000 Professional でらくらくウィザードのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

Mac OS X/9.2/9.1/8.6（日本語版）でご使用の方

・ CD-ROM をドライブにセットしてもウィンドウが開かないときには、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

- **Windows® XP/2000 Professional/Me が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**

　ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨
　Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
　メモリ 32MB 以上
　800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ

● Macintosh 動作環境

- **Mac OS X/9.2/9.1/8.6（日本語版）が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**

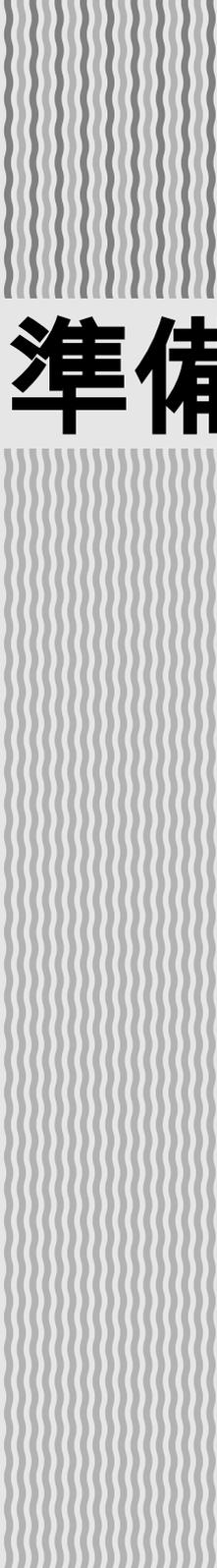
　ハードディスクの空き容量：10MB 以上を推奨
　Mac OS、Mac OS X の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
　800 × 600　32000 色以上表示可能なカラーモニタ
　32MB 以上の空きメモリ

※ WL54AG は Macintosh ではご使用になれません。

●PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat® Reader4.0J 以上が必要です。メニューの「Acrobat Reader のインストール」をクリックするか、「READER」フォルダに含まれるファイルをダブルクリックすることでインストールすることができます。
Acrobat® Reader の使用条件や最新の情報については、アドビシステムズ社のホームページをご覧ください。

●機種によっては不要またはご使用になれないファイルがありますので、ご使用にあたってはルートにある「README」または「はじめに」をご覧ください。

●表示画面
・サイズ：800 × 600 ピクセル以上
・色　　：High-color（24 ビット）以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●メニュー画面と「らくらくウィザード」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

準備編 お使いになる前に

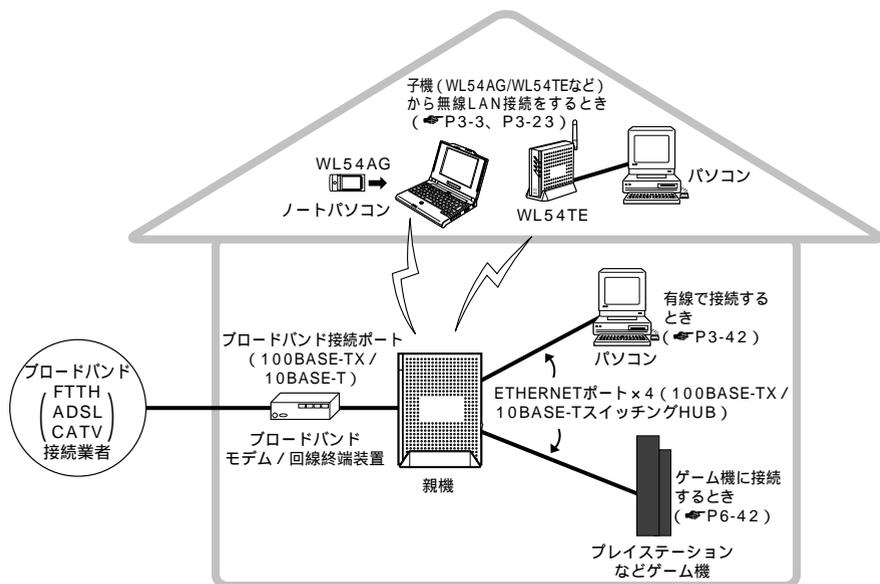
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

準備編

1

お使いになる前に

1-1 本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。

本書の「導入編」では、親機または子機に接続したパソコンでインターネットに接続するまでを案内しています。
本商品では、さらに本書の「応用編」および添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。
本書では、ADSL モデム、CATV モデムをブロードバンドモデム、FTTH 回線終端装置を回線終端装置と呼びます。

■ワイヤレスLAN通信

●**無線LANカード（WL54AG）を親機に装着することにより、子機とIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した子機とワイヤレス通信を行うことができます。**

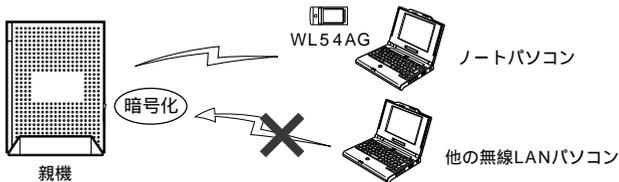
<通信速度と電波の届く範囲>

ワイヤレスで届く範囲は次のとおりです。環境によって異なります。

通信規格	環境	伝送範囲・速度
IEEE802.11a	見通し	20m（54Mbps）～90m（6Mbps）[屋外使用禁止]
IEEE802.11b	見通し	50m（11Mbps）～180m（1Mbps）
IEEE802.11g	見通し	20m（54Mbps）～180m（1Mbps）

※障害物のない場合です。
※IEEE802.11a通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信は切り替えて使用します。

●**無線LAN内のセキュリティ対策**

他の無線LANパソコンから親機に接続されるのを防いだり、親子機間の通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☛P6-2）
親子機間の通信が外から覗かれたり、親機に他の子機が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをお勧めします。

●**子機を増設する（☛P6-50）**

子機として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11a通信　：WL54TE/WL54AG/WL54AC
IEEE802.11b通信　：WL54TE/WL54AG/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/WL11U/WL11E2
IEEE802.11g通信　：WL54TE/WL54AG
※接続する子機によって通信速度が異なります。
IEEE802.11a通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。
IEEE802.11aの子機とIEEE802.11bまたはIEEE802.11gの子機を同時に使用することはできません。

また、親機が使用している通信規格と同じ通信規格の無線LAN内蔵パソコンを増設できます。(パソコンの機種により､機能制限があったり､接続できない場合があります。)
接続できるパソコンはETHERNETポート接続のパソコンも含めて全部で32台までです。インターネットへの同時接続利用は、10台以下でのご使用をお勧めします。

●**子機同士で通信する（アドホックモード）（CD-ROM 機能詳細ガイド）**

親機を経由しないで、子機同士でデータ通信ができます。

※IEEE802.11a、IEEE802.11b通信モードのみです。IEEE802.11g通信モードでは、アドホックモードはご利用になれません。

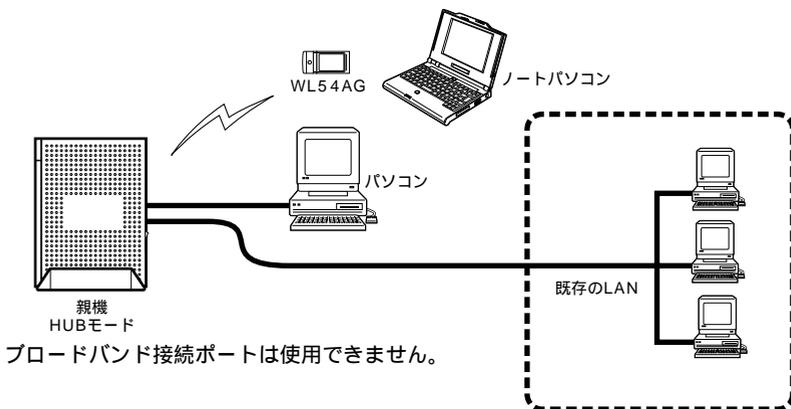
■セキュリティ対策をする（☞P6-2）

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（ CD-ROM 機能詳細ガイド）

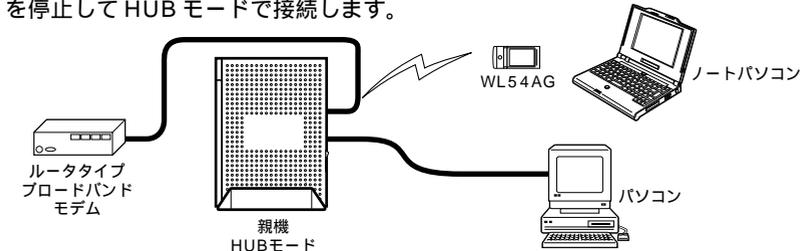
・IP パケットフィルタリング
・不正アクセス検出
・アドバンスド NAT（IP マスカレード機能）
・ダイナミックポートコントロール機能

■本商品を無線 HUB として使う（☞P6-43）

●既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止して HUB や無線アクセスポイントとして使用することができます。

※ブロードバンド接続ポートは使用できません。

●ルータに接続する場合

ルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止して HUB モードで接続します。

※ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは ETHERNET ポートに接続します。

■ゲーム機を接続する（☞P6-42）

“PlayStation® 2”などネットワークゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームソフトが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoE ブリッジ機能（☞P6-39）で接続できます。

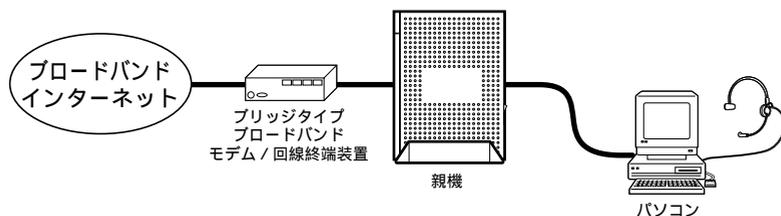
■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

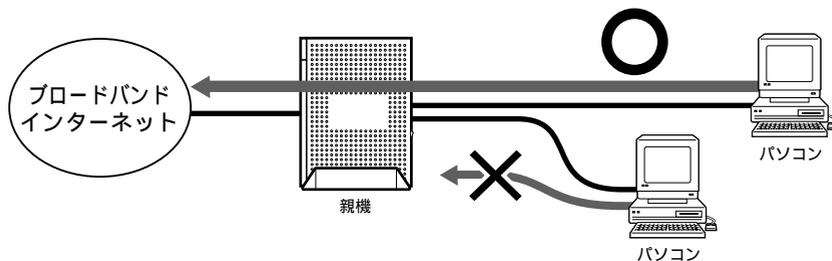
次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。（☞P6-37）

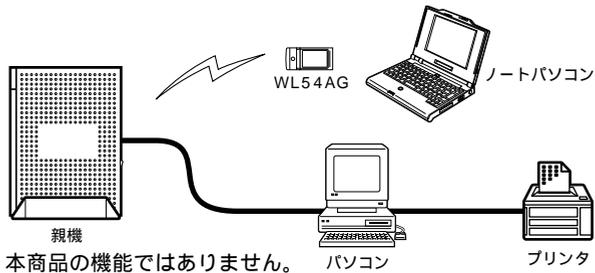
・ PPPoE ブリッジ機能

・ポートマッピングの設定

・シングルユーザアクセスモード

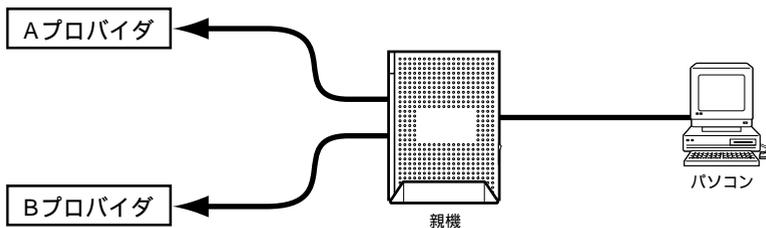
また、UPnP 機能を使用して Windows® XP の“ Windows Messenger ”サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。（☞P6-46）

●シングルユーザアクセスモード（☞P6-40）

ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に一台のパソコンでインターネット接続を占有できます。

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（CD-ROM 機能詳細ガイド）

■インターネットの通信を切断する

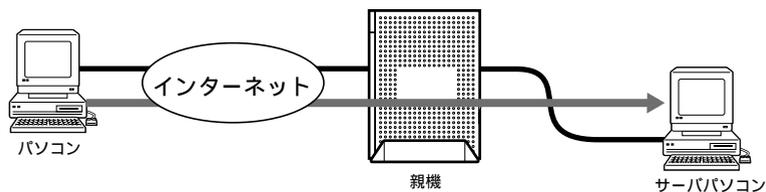
- **クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］で切断できます。（CD-ROM 機能詳細ガイド）**
- **DISCスイッチ（☞P5-3）**
- **無通信監視タイマ（☞P5-3）**

■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定Webで複数の接続先を登録できます。

●**PPPoEマルチセッション（☞P4-8）**
1つの回線契約で複数（最大3セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。
※ご利用の回線がマルチセッションに対応している必要があります。

■ SOHO で使用するときに便利な機能

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
（CD-ROM 機能詳細ガイド）

アドバンスド NAT オプション（ポートマッピング）、DMZ ホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。

●複数のグローバル固定 IP アドレスを付与するサービスを利用する
（複数固定 IP アドレス対応）（CD-ROM 機能詳細ガイド）

●会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（CD-ROM 機能詳細ガイド）

VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

●親機をバージョンアップする（☞P6-47）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては親機の動作を改善します。

●親機の設定を保存する（CD-ROM 機能詳細ガイド）

クイック設定 Web で、現在の親機の設定内容を保存できます。親機を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから親機に設定内容を復元することができます。

●親機を初期化する（☞P7-25）

親機の設定内容を工場出荷の状態に戻します。

親機がうまく動作しない場合や、もう一度初めから親機を設定したいときにお使いいただけます。

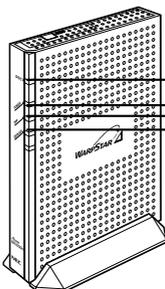
1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成品

1-3 各部の名前とはたらき

WR7600H（親機）

●前面図

① **DISC スイッチ（回線切断スイッチ）**
DISC ランプ
プロバイダとのルータ接続を手動で切断するときに使用します。

② **POWER ランプ（電源）**

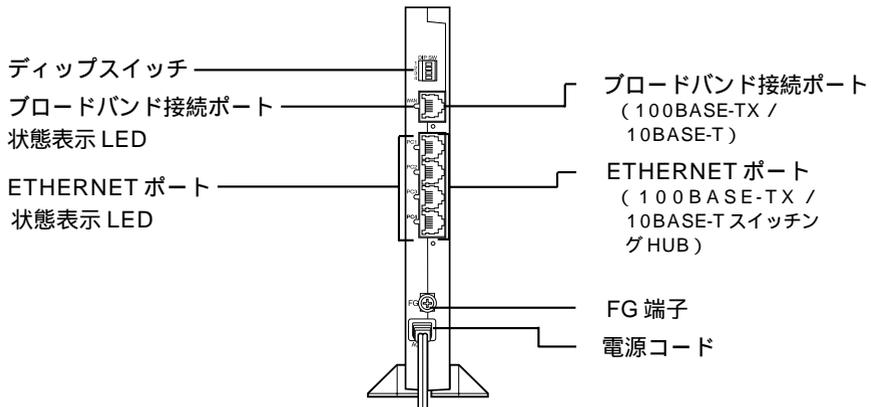
③ **PPP ランプ（通信状態表示）**

④ **DATA/AIR ランプ（通信状態/無線通信状態表示）**

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	本商品の状態
① DISC ランプ	緑（点灯）	WAN 側（ブロードバンドモデム／回線終端装置）と接続中
	赤（点灯）	DISC スイッチによって WAN 側との接続を不可にしているとき
	消灯	WAN 側と接続していないとき
② POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤（点滅）	バージョンアップが失敗したとき※
③ PPP ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に PPP の認証が失敗したとき（1 秒間隔）（☞P7-8）
	緑（速い点滅）	親機の動作モードが PPPoE モードの場合に相手先から応答がないとき（☞P7-8）
	消灯	ローカルルータモードで利用しているとき、または PPP 未接続のとき
④ DATA/AIR ランプ	緑点灯（点滅）	ETHERNET ポートまたは無線で接続された機器が WAN 側とデータの送受信をしているとき
	橙点灯（点滅）	無線通信でデータを送受信しているとき（本商品（親機）側から子機側を検索するなど、本商品（親機）側から一方的にデータを出力しているときも橙点滅します。）

※この状態ではご利用になれません。お近くの NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。

●背面図

名称	説明	
①ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX／10BASE-T）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。	
② ETHERNET ポート（100BASE-TX／10BASE-T スイッチング HUB）	パソコンまたはハブやゲーム機との接続に使用します。	
③ FG 端子	アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。	
④電源コード	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。	
⑤ディップスイッチ	親機の初期化・自己診断をするとき、HUB モードで使用するとき、IEEE802.11a 専用通信モードで使用するときに使用します。	
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示 LED	緑点灯	ブロードバンドモデムが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	ブロードバンドモデムとデータ送受信中
⑦ ETHERNET ポート状態表示 LED	緑点灯	パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅	パソコンまたはハブとデータ送受信中

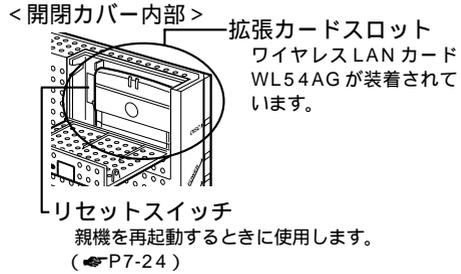
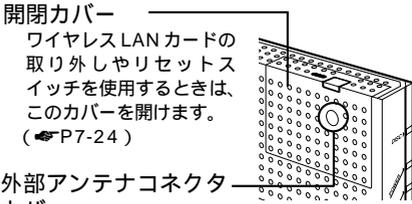
●側面図

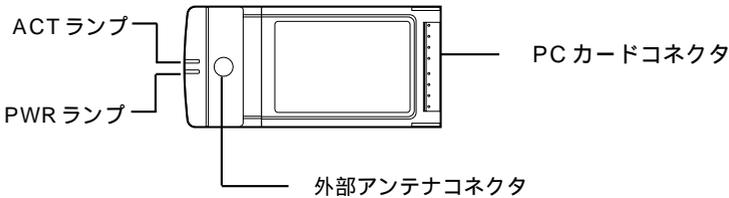
開閉カバー
ワイヤレス LAN カードの取り外しやリセットスイッチを使用するときは、このカバーを開けます。
（☛P7-24）

外部アンテナコネクタカバー
外部アンテナを接続するときにカバーを切り取って使用します。

＜開閉カバー内部＞

拡張カードスロット
ワイヤレス LAN カード WL54AG が装着されています。

リセットスイッチ
親機を再起動するときに使用します。
（☛P7-24）

●拡張カードスロットの WL54AG を取り外すときや装着するときは、必ず親機の電源を切ってください。

WL54AG（子機）

① PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込みます。
（注）ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

②外部アンテナコネクタ
外部アンテナを接続するときに使用します。使用するときは、キャップを外してください。

③ PWR ランプ（電源）／ ACT ランプ（通信表示）

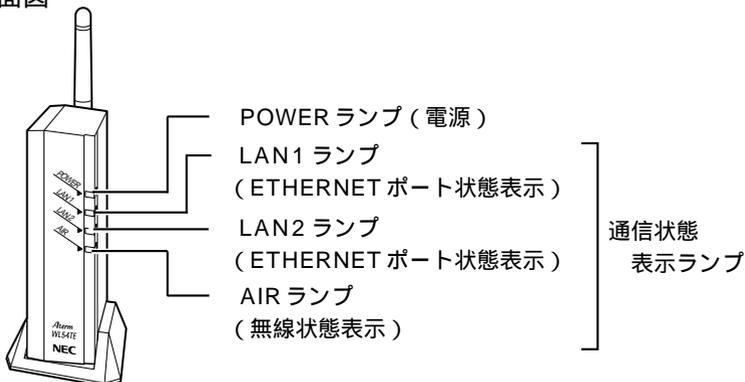
【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54AG の状態
2 つのランプが同時に点滅	通信中 （通信量により点滅速度が変化します）
2 つのランプが同時に遅く点滅	通信待機中 （通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません）
2 つのランプが交互に遅く点滅	親機をサーチ中（無線接続が確立されていません）
PWR ランプのみ点滅 （ACT ランプ消灯）	電源オフ （無線接続オフ設定時、またはドライバ無効の状態）

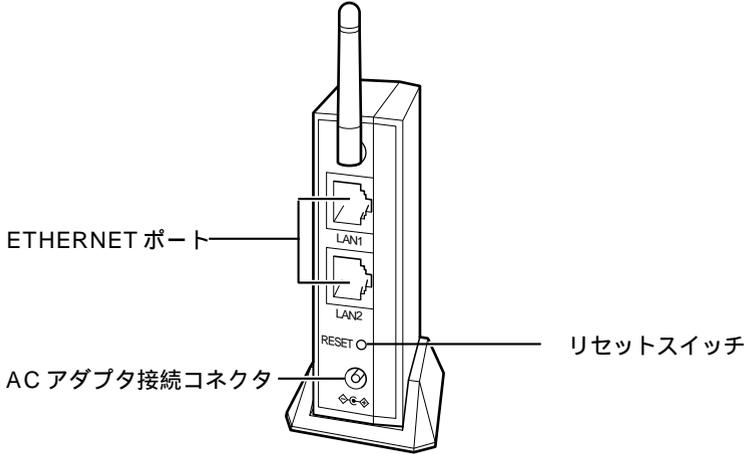
●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

1
お使いになる前に

WL54TE（子機）

●前面図

【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		状　態
① POWER ランプ（電源）	緑	点灯	電源が入っているとき
	消灯		電源が入っていないとき
② LAN1 ランプ（ETHERNET ポート状態表示）	緑	点灯	ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが 100Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN1）でデータ送受信中（リンク速度 100Mbps）
	橙	点灯	ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが 10Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN1）でデータ送受信中（リンク速度 10Mbps）
	消灯		ETHERNET ポート（LAN1）のリンクが確立していないとき
③ LAN2 ランプ（ETHERNET ポート状態表示）	緑	点灯	ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが 100Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN2）でデータ送受信中（リンク速度 100Mbps）
	橙	点灯	ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが 10Mbps 確立しているとき
		点滅	ETHERNET ポート（LAN2）でデータ送受信中（リンク速度 10Mbps）
	消灯		ETHERNET ポート（LAN2）のリンクが確立していないとき
④ AIR ランプ（無線状態表示）	緑	遅点滅	IEEE802.11b ＋ g モード、IEEE802.11g モードで親機（アクセスポイント）とのリンクが確立しているとき
		早点滅	IEEE802.11b ＋ g モード、IEEE802.11g モードで無線データ送受信中
	橙	遅点滅	IEEE802.11a モードで親機（アクセスポイント）とのリンクが確立しているとき
		早点滅	IEEE802.11a モードで無線データ送受信中
		点灯	WL54TE のファームウェアをバージョンアップしているとき リセットスイッチを押しているとき
	消灯		親機（アクセスポイント）とのリンクが確立されていないとき

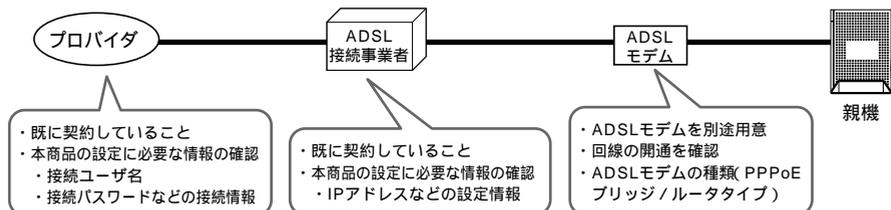
●背面図

名　称	説　明
①リセットスイッチ（RESET）	初期化するときに使用します。
②ETHERNET ポート （LAN1、LAN2） （100BASE-TX/10BASE-T）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
③AC アダプタ接続コネクタ	添付の AC アダプタを接続します。

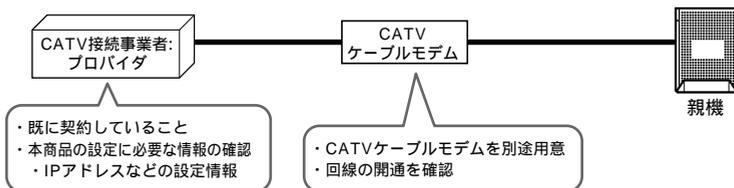
1-4 あらかじめ確認してください

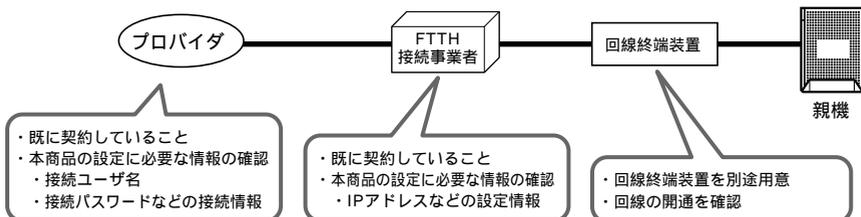
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

■ ADSL 接続の場合

ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。
※ ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。

■ CATV（ケーブルテレビ）インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

■ FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☞P1-21）**
- **プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること**
- **ファイアウォールソフトの停止**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトは一旦停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）

〈親機に有線で接続する場合、子機（WL54TE）に接続する場合〉

- **ETHERNET（イーサーネット）ポート（LAN ポート）を装備していること**
  お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX ／ 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法は添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☞P1-16）**
- **子機（WL54TE）にゲーム機を接続し、ゲームを使用するときは WL54TE と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。**

〈子機（WL54AG）から無線で接続する場合〉

- **Card Bus（カードバス）準拠の PC カードスロットが装備されていること**

〈接続可能な機器〉

OS 等	親機（ETHERNET ポート）	子機（WL54AG）	子機（WL54TE）
Windows®	○	○ Windows® XP/Me/2000 Professional（日本語版）のみ	○
Macintosh	○	×	○
その他 OS（Linux 等）	○	×	○
ゲーム機	○	×	○

お願い

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Macintosh の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® をご利用の場合 ☞P1-16 ～ P1-19
Macintosh をご利用の場合 ☞P1-20

■ Windows® をご利用の場合

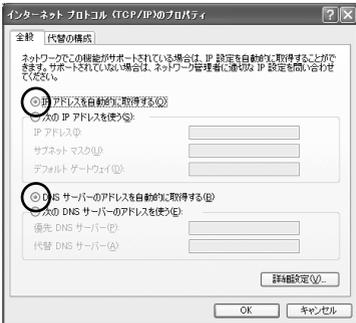
Windows® XP をご利用の場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

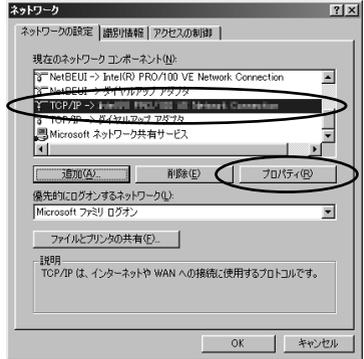
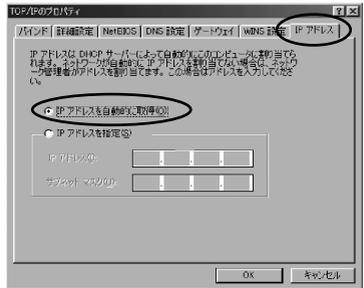
お知らせ

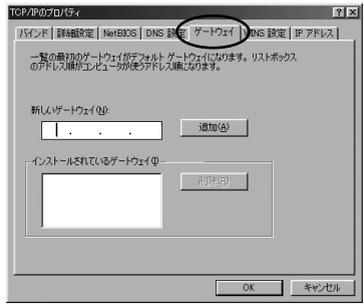
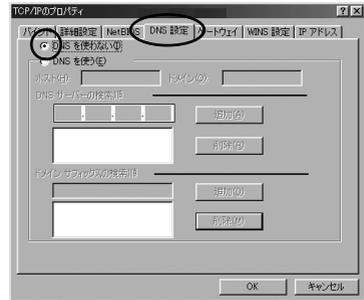
●Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
●本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示モード）を前提に記述しています。

Windows® Me/98SE/98をご利用の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3 リストの［TCP/IP−>（お使いのLANカードまたはお使いのLANボード)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

4 ［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］を選択する

5 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する

（次ページに続く）

6 ［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択する

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

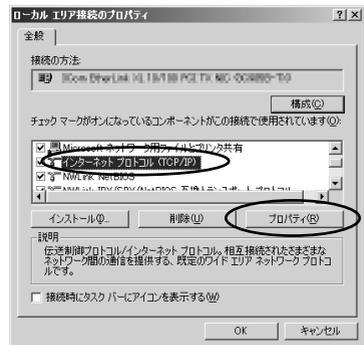
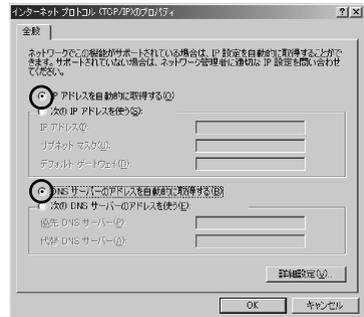
画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

Windows® 2000 Professionalをご利用の場合

1 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する**

2 **［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする**

3 **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

4 **リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする**

5 **［IP アドレスを自動的に取得］と［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］を選択する**

6 **［OK］をクリックする**

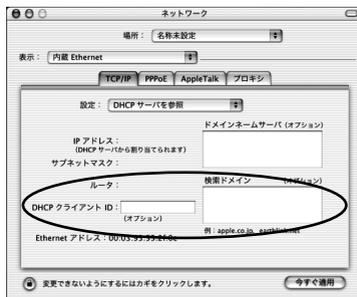
7 **［OK］をクリックする**

■ Mac OS をご利用の場合

Mac OS X をご利用の場合

1 **アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをクリックする**

2 **［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［設定］を［DHCP サーバを参照］にする**

3 **［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン］を空白にする**

4 **［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる**

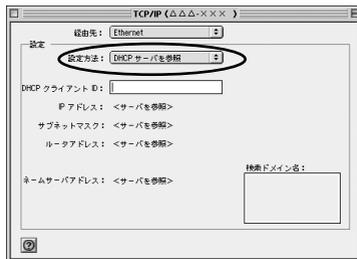
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Mac OS 9.2/9.1/8.6 をご利用の場合

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］－［TCP/IP］を開く**

2 **［経由先］を［Ethernet］にする**

3 **［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる**

画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

4 **確認のダイヤログが表示されたら［保存］をクリックする**

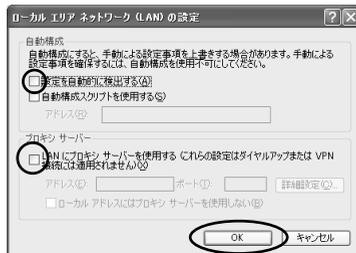
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）の設定を「ダイヤルしない」に変更します。以下は Windows® XP/2000 Professional/Me で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動する。
②［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③［接続］タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。

⑤［LAN の設定］をクリックする。
⑥「設定を自動的に検出する」と［LAN にプロキシサーバーを使用する］の☑ を外す。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。

お知らせ

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。
※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® XP、Mac OS X で Internet Explorer をお使いの場合の例です。
その他の OS や Netscape® での設定については「お困りのときには」（HTML ファイル）を参照してください。

Windows® XP の場合（Internet Explorer のバージョン 6.0 の例です。）

1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックする

2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

5 ［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［OK］をクリックする

※ IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面をひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。

6 ［OK］をクリックする

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする

8 ［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

9 ［適用］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

Mac OS X の場合（Internet Explorer のバージョン 5.1 の例です。）

1 **インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする**

2 **［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする**

3 **［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする**

4 **［サイトの追加］をクリックする**

5 **［追加］をクリックする**

6 **「http://web.setup/」と入力する**

※IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面をひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。

7 **［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す**

8 **［Web ブラウザ］から［Web コンテンツ］をクリックする**

9 **［アクティブコンテンツ］で、［スクリプトを有効にする］にチェックを入れる**

10 **［OK］をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする**

※ WWW ブラウザ（Internet Explorer）を一度終了させないと、設定は反映されません。

導入編 インターネットに接続しよう

導入編

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

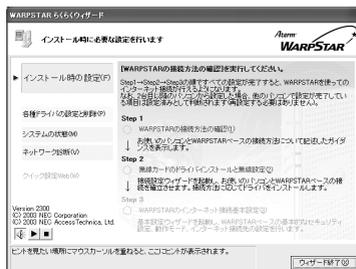
設定方法について

本商品を設定するには、次の 2 つの設定方法があります。初めて設定する場合には、らくらくウィザードが便利です。

●Windows® パソコンで子機のドライバをインストールする場合やインターネット接続までの基本設定をする場合

らくらくウィザード（ユーティリティ）で設定する

パソコンの接続→回線の設定→インターネット接続までの設定がステップに従って簡単に行えます。
また、子機（WL54AG）のドライバのインストールおよび無線 LAN の設定が簡単に行えます。

＜画面例＞

＜らくらくウィザードが利用できるパソコン＞
Windows® XP/2000 Professional/Me（日本語版）
音声ガイドを再生するには、パソコンに WAV ファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

●Macintosh や Linux など Windows® 以外のパソコンやゲーム機などから設定する場合
●本商品の詳細な設定を変更する場合

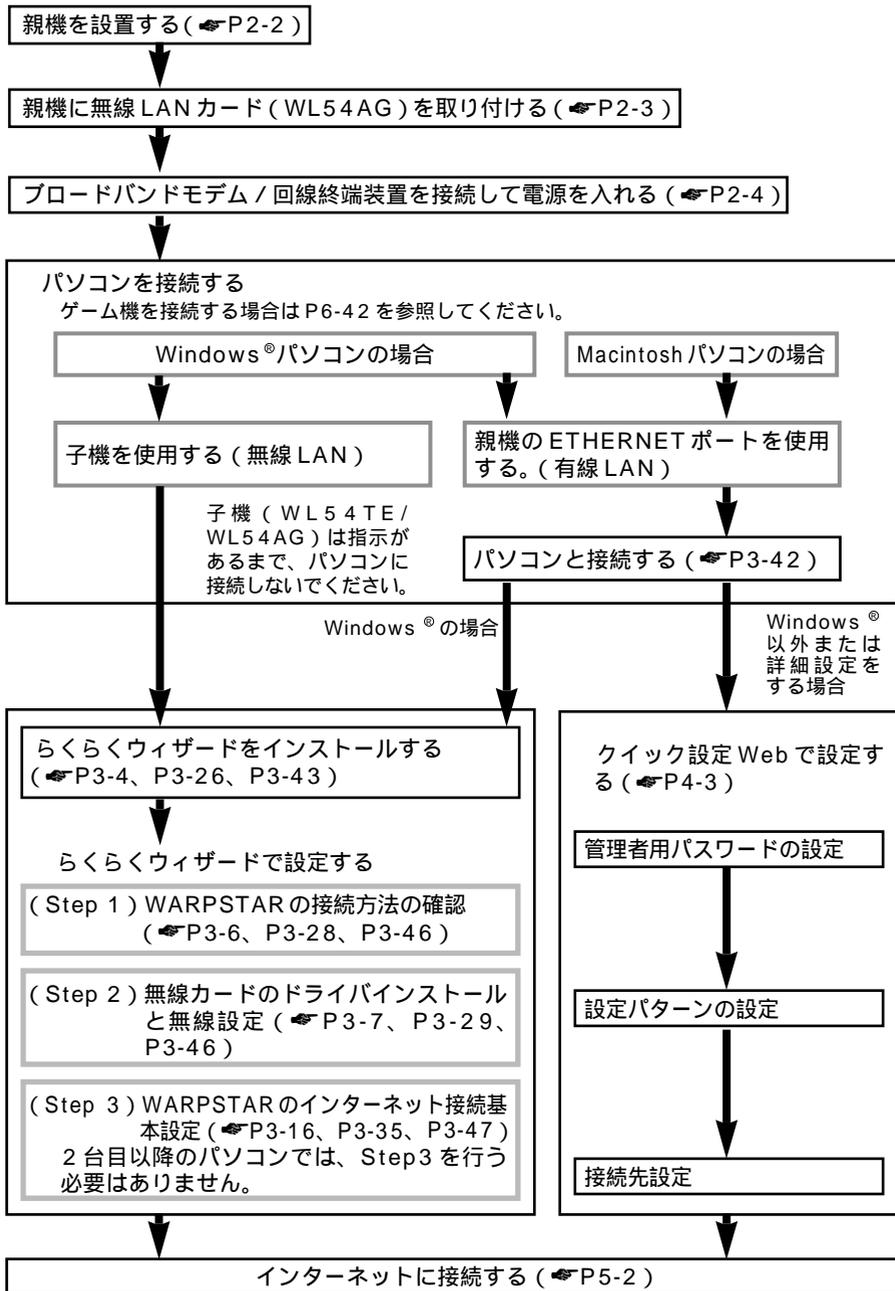
クイック設定 Web（WWW ブラウザ）で設定する

本商品のすべての設定が行えます。

＜画面例＞

＜設定できる WWW ブラウザ＞
Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 の場合
Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応
Netscape® 6.1 以上に対応
Mac OS X/9.2/9.1/8.6 の場合
Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応
Netscape® 6.01 以上に対応
NetFront for ⊿（デルタ）（株式会社 ACCESS）（“PlayStation® 2”用ブラウザ）（基本設定のみ）
※クイック設定 Web からの設定では、子機（WL54AG）のドライバのインストールが行えません。子機（WL54AG）から設定を行う場合は、らくらくウィザードで子機（WL54AG）のドライバのインストール後、親機との通信が確立してからクイック設定 Web での設定を行ってください。

セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れです。

2 WARPSTARに接続しよう

2-1 親機を設置する

親機の置き場所を決めよう

親機には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

●親機はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置こう

●親機用の電源コンセントはありますか？
親機用の電源コンセントを確保しましょう。

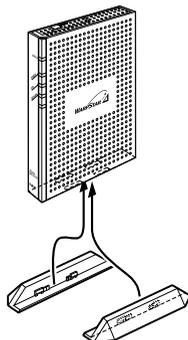
●子機は親機から無線で電波の届く距離に置こう
設定するときは親機のそばで設定しましょう。

お知らせ

●ワイヤレスで届く範囲は見通し（間に障害物が何もない状態）で次のとおりです。壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。

通信規格	環境	伝送範囲（参考値）
IEEE802.11a	見通し	20m（54Mbps）～90m（6Mbps）[屋外使用禁止]
IEEE802.11b	見通し	50m（11Mbps）～180m（1Mbps）
IEEE802.11g	見通し	20m（54Mbps）～180m（1Mbps）

縦置きスタンドを取り付ける

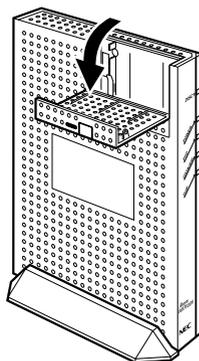
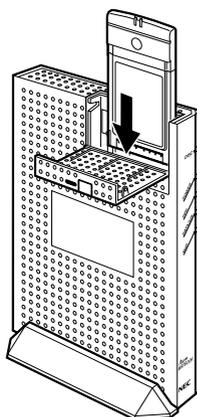
図のように親機に縦置きスタンドを取り付けます。

●親機は絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災になる可能性があります。また、せまい場所や壁などに近づけて設置しないでください。

2-2 親機に無線 LAN カード（WL54AG）を取り付ける

同梱されている WL54AG を取り付けることでワイヤレス LAN がご利用になれます。

●親機の電源を切った状態で取り付けてください。

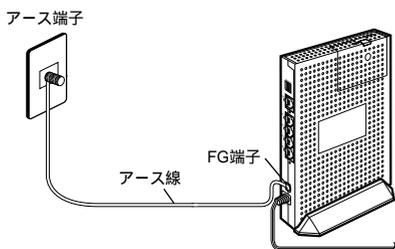
■拡張カードスロットに無線カードを取り付ける

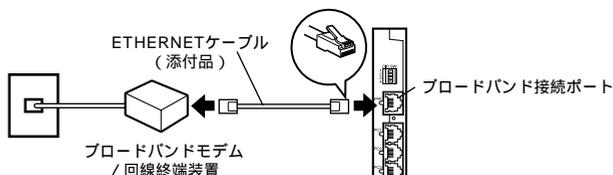
1 **親機側面の開閉カバーを開く**

2 **無線 LAN カード（WL54AG）を拡張カードスロットに装着する**

3 **開閉カバーを閉める**

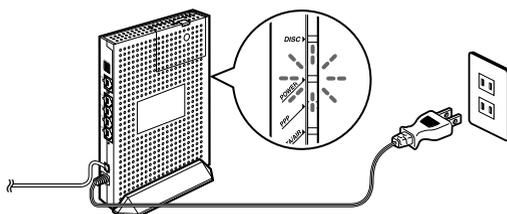
2-3 接続して電源を入れる

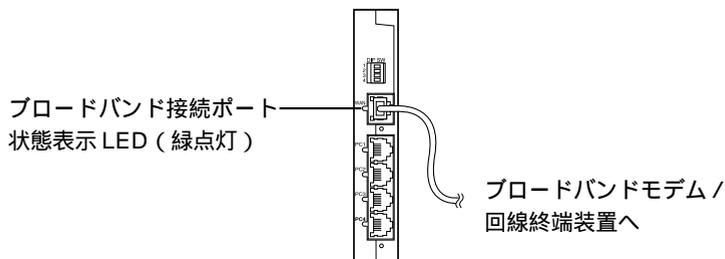
あらかじめブロードバンドモデム／回線終端装置に直接パソコンを接続してインターネット接続できることを確認しておくことをお勧めします。

1 アース線を接続する

親機の FG 端子と壁のアース端子をアース線で接続します。
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。
アース線は漏電や落雷などが起こった場合に人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

2 ブロードバンドモデム／回線終端装置に接続する

本商品のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデム／回線終端装置を ETHERNET ケーブルで接続します。

3 親機の電源プラグを壁の電源コンセントに接続する

POWER ランプが点灯します。

4 背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯していることを確認する

ランプが正しく点灯しない場合は、下記を参照してください。

お願い

●親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

? ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しないときは、親機とブロードバンドモデム／回線終端装置が正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

① ETHERNET の接続を確認する
親機のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

② ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認する
接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5)」であることを確認してください。(☛P8-5)

③ ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認する

④ 親機の電源が入っているか確認する

①〜④を行っても問題が解決しない場合は、以下の確認をしてください。
本商品のブロードバンド接続ポートと本商品の ETHERNET ポート（PC1）を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。

ポート状態表示 LED が
点灯する場合 ………親機は、問題ありません。
ブロードバンドモデム/回線接続装置が故障している可能性があります。
点灯しない場合 ……親機を初期化してみてください。
それでも解決しない場合は親機の故障の可能性があります。
最寄りの NEC 保守サービス受付拠点（☛P8-13）へお問い合わせください。

ブロードバンドモデムの種類と本商品の動作モードについて

ブロードバンドモデムによって設定する本商品の動作モード（PPPoEモード、ローカルルータモード、無線HUBモード）が異なりますので、あらかじめ確認しておきましょう。実際の設定は、らくらくウィザード、クイック設定Webの設定の中で行います。

＜回線種別と動作モード＞

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT東日本／西日本 Bフレッツ	PPPoEモード（※1）
	東京電力 TEPCOひかり	
	ケイ・オプティコム eoメガファイバー（ホームタイプ）	
	有線ブロードネットワークス （IP接続で接続する事業者の場合）	ローカルルータモード
ADSL回線に接続	NTT東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoEモード ただし、ルータタイプのADSLモデムを利用する場合は、無線HUBモードでの利用をお勧めします。
	イー・アクセス（※2）	ローカルルータモードまたは、無線HUBモード（※3）
	アッカ・ネットワークス（※2）	
	その他のADSL接続業者（※2）	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV回線に接続	―	ローカルルータモード
社内LANなどのネットワークに接続	―	ローカルルータモード

※1 PPPoE接続の場合、不明な時はFTTH事業者に確認してください。
※2 プロバイダまたはADSL事業者によっては、ブロードバンドモデムがPPPoEによるブリッジタイプまたは、PPPoEによるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ブロードバンドモデムをPPPoEによるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードはPPPoEモードを選択してください。
※3 ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線HUBモードでご利用ください。（☛P3-18）

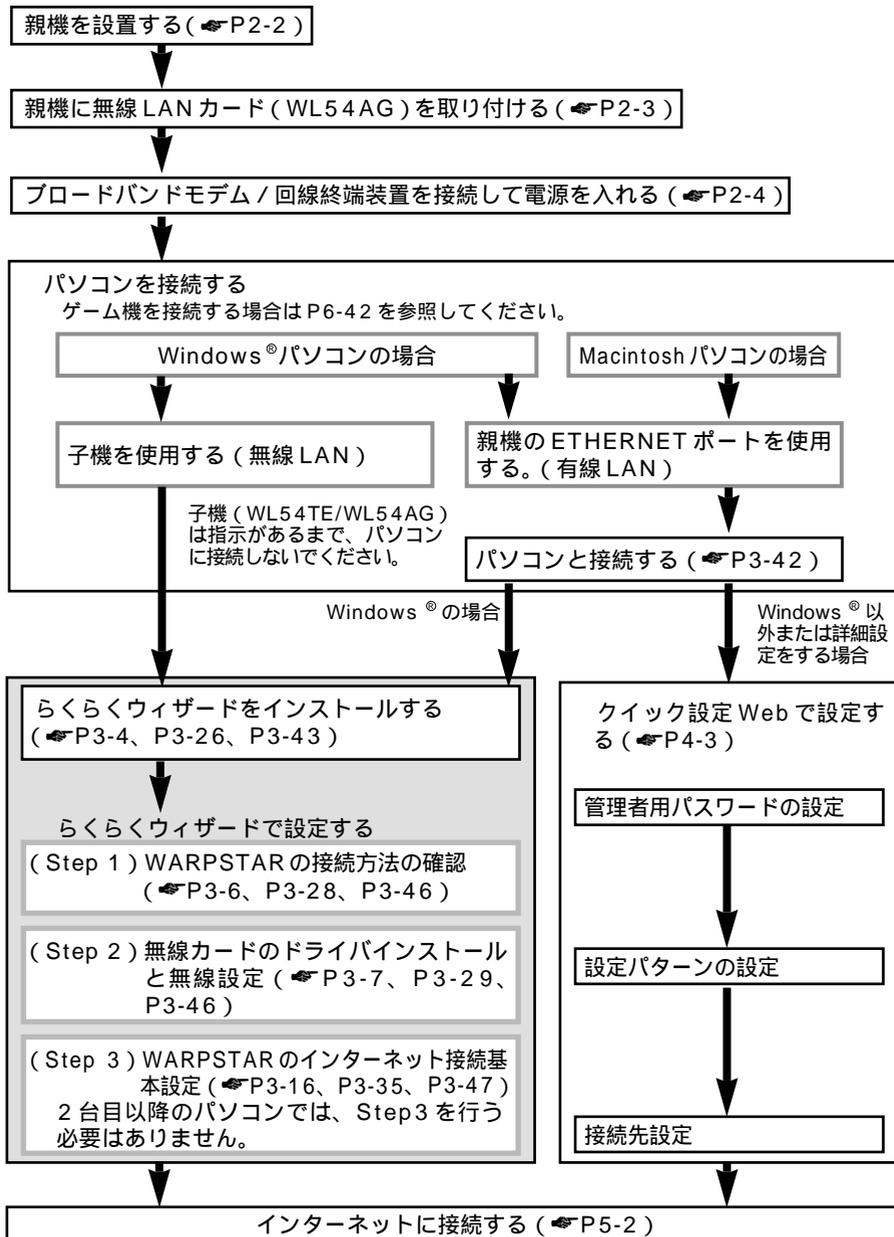
お知らせ

●ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプのETHERNETケーブルを自動認識できます。（Auto MDI-X対応）
●パソコンにADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトや、Windows® XPのPPPoE機能を使用している場合、ADSLサービスによっては、パソコンを1台しかインターネットに接続できません。
複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアやWindows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、本商品のPPPoEモードを使用してお使いください。

3

らくらくウィザードで WARPSTARを設定する

設定の流れ

3章では、らくらくウィザードを使用して設定する場合を説明しています。
クイック設定Webを使用して設定する場合は、4章を参照してください。
どちらの方法で設定するかは「設定方法について」（☞P導入-1）を参照してください。

3-1 子機（WL54AGなど）から無線LAN接続する

子機で無線LAN接続する場合

子機（WL54AG）をパソコンに接続するときは、①子機のドライバのインストール→②パソコンに子機を挿入する→③無線LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくウィザードで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくウィザードをインストールしてください。
子機（WL54AG）を接続できるのはWindows® XP/2000 Professional/Meのみです。Macintoshではご利用になれません。
子機（WL54AG）は、Card Bus準拠のPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

注意

子機（WL54AG）は、らくらくウィザードの「インストール時の設定」の「Step2 無線カードのドライバインストールと無線設定」で指示があるまで挿入しないでください。

お願い

●子機はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行ってください。（☞P3-14、P3-15）
●らくらくウィザードを起動する前に誤って、子機をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。（既にインストールが完了している場合は、P3-6 に進みます。）

1 Windows® XP/2000 Professional/Me を起動する

Windows® XP/2000 Professionalの場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

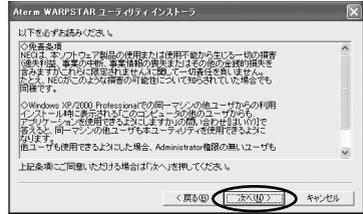
メニュー画面が表示されます。

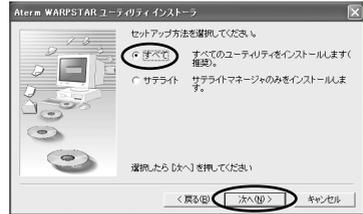
メニューが表示されないときは（☞P3-6）

3 ［WARPSTAR のセットアップの開始］をクリックする

4 ［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

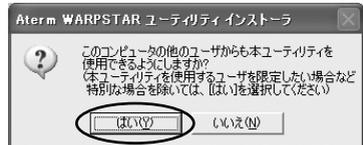
6 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

7 ［すべて］を選択し［次へ］をクリックする

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 ［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

10 ［はい］をクリックする

11 ［README の表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

3 らくらくウィザードで WARPSTARを設定する

（次ページに続く）

12 README をよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROM のメニュー画面の［終了］をクリックする

CD-ROM のメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニューを終了すると表示されます。

「Step1　WARPSTAR の接続方法の確認」（☞ 下記）に進みます。

らくらくウィザードの音声ガイダンスについて

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスは画面左下の をクリックして、再生か再生禁止の切り替えができます。

らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］―［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］―［らくらくウィザード］をクリックします。

メインメニュー画面が表示されない場合には

添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
① Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と \Menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
（例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:\Menu.exe）

Step1　WARPSTAR の接続方法の確認

1 らくらくウィザードを起動する（☞ 上記）

2 ［次へ］をクリックする

3

［インストール時の設定］の［Step1:WARPSTARの接続方法の確認］をクリックし、接続方法を確認する

本取扱説明書の2章の操作で接続が完了している場合は［Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定］に進みます。

Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定

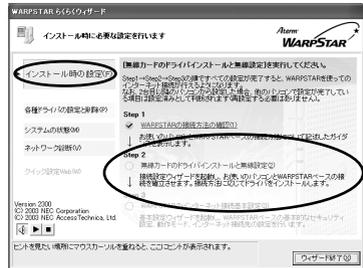
お願い

●子機は、手順2の画面が表示されるまでパソコンのカードスロットに取り付けないでください。

●Step2をはじめる前に親機の電源が入っていることを確認してください。

1

［インストール時の設定］の［Step2 無線カードのドライバインストールと無線設定］をクリックする

2

次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

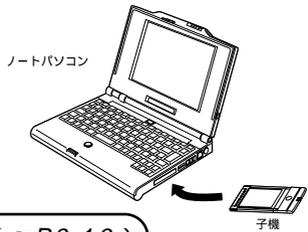
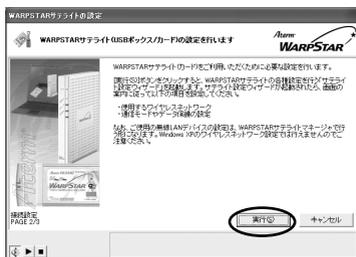
自動的にドライバのインストールが開始されます。

ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

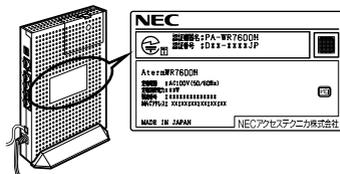
子機の取り外しかた（☞P3-11）

ドライバをアンインストールしたいときは（☞P3-13）

（次ページに続く）

3 ［実行］をクリックする

4 接続する親機のネットワーク名をクリックする

※複数の親機がある場合は、ネットワーク名も複数表示されます。

※親機の無線 LAN 設定で「ESS-ID ステルス機能」が有効になっていると、ネットワークの一覧にネットワーク名が表示されません。利用できるネットワークに接続する親機がみつからない場合は、［新規登録］を選択して［次へ］をクリックしてください。手順 7 へ進みます。

工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR − XXXXXX」（XXXXXX は親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

5 親機の無線設定も変更する場合は［親機の無線設定も設定する］に☑する

6 ［次へ］をクリックする

7 次の画面で、親機の設定に合わせて無線 LAN カードの設定を行い、［次へ］をクリックする

■親機も同時に設定する場合

手順 5 で［親機の無線設定も設定する］にチェックした場合は次のように設定します。

［ネットワーク名］

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

［無線動作モード］

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

［チャネル番号］

親機と通信するチャネルを選択します。

［暗号化モード］

「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

■子機のみ設定する場合

手順 5 で［親機の無線設定も設定する］にチェックしていない場合は使用する親機にあわせて次のように設定します。

［ネットワーク名］

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

［通信モード］

アクセスポイント通信を選択します。

［暗号化モード］

親機の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

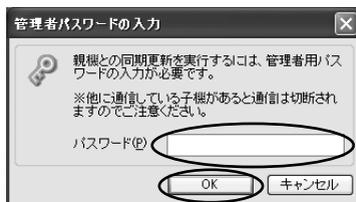
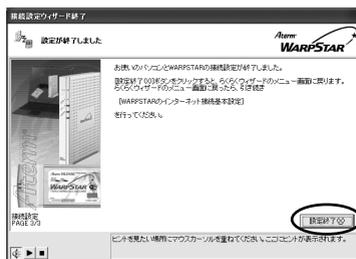
無線動作モードの選び方

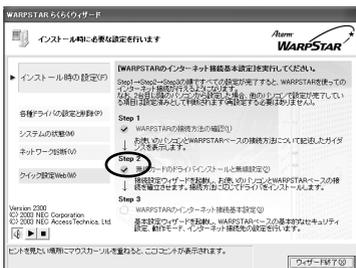
802.11a……電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。
802.11g……802.11a よりも広い範囲で高速な通信を行うことができます。
802.11g+b…802.11b にしか対応していない子機との混在環境での利用に適しています。

3
らくらくウィザードで WARPSTAR を設定する

（次ページに続く）

8 次の画面が表示された場合は、親機に設定した管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

親機に管理者用パスワードを登録していない場合や、子機のみ設定する場合は表示されません。手順 9 へ進みます。

9 ［設定終了］をクリックする

10 らくらくウィザード画面に戻り、Step2 に✔がつくことを確認する

! *が表示されたときは（☞P3-12）*

これで子機のドライバのインストールと無線設定が完了です。「Step3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定」（☞P3-16）に進みます。

お知らせ

●以降の設定をクイック設定Webで行うこともできます。（「4章　クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う」☞P4-1）

■子機の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・子機のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取り外すとき〉

・子機を取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

①タスクトレイのPCカードアイコンをクリックする

②［NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterの停止］をクリックする（Windows® XPの場合は［NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterを安全に取り外します］をクリックする）

③「NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterは安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする（Windows® XPの場合は ✕ をクリックして画面を閉じる）

④WL54AGを取り外す

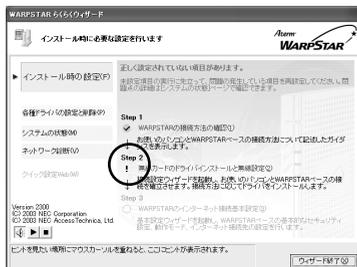
お願い

●子機の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。

! らくらくウィザードで設定を行った場合

Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。（☞P6-16）
ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、暗号化モードは、暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。WEP（152bit)、AES、TKIP、ESS-IDステルス機能は、ご利用になれません。

こんなときは

らくらくウィザードのメニュー画面 Step2 に❗マークが表示された場合は、下記①～⑥を確認してしてください。

①［ネットワーク診断］―［LAN 側（PC → WARPSTAR ベース）のネットワーク診断］をクリックする
②［IP アドレス情報（LAN)］の［アダプタ］のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックし、［WL54AG（PA-WL/54AG)］を選択する
③［解放］をクリックする
④［再取得］をクリックする
⑤ IP アドレスが［192.168.0.×××］になることを確認する
⑥［OK］をクリックする
⑦［システムの状態］をクリックする
⑧［最新の状態に更新］をクリックする

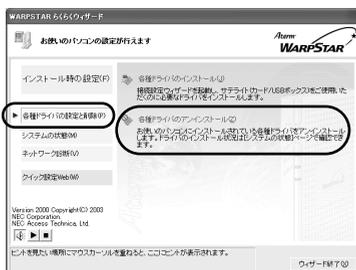
❗マークが消えない場合は、「7-1　トラブルシューティング」の「c.らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている」（☞P7-4）を参照してください。

※ お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイヤウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定や、ファイヤウォール、ウィルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

電波が届かない場合は

親機から電波の届く場所へ子機を移動してください。（電波の状態はサテライトマネージャ（☞P6-14）とランプの状態（☞P1-11）で確認できます。）

? 子機のドライバをアンインストールするには

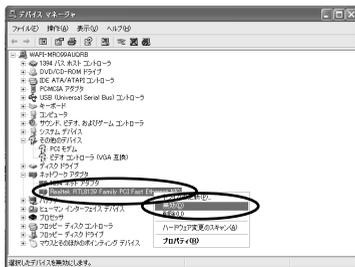
① らくらくウィザードを起動する
②［各種ドライバの設定と削除］をクリックし、［各種ドライバのアンインストール］をクリックする

③［はい］をクリックする
④ 画面の指示が出たら、タスクバーのカードアイコンをクリックして、"NEC Aterm WL54AG（PA-WL54/AG）Wireless Network Adapter を安全に取り外します"をクリックする
⑤ 取り外し可能のメッセージが表示されたら［OK］（Windows® XP の場合は ☒ ）をクリックする
⑥ 子機（WL54AG）を取り外す
⑦［OK］をクリックする
⑧ アンインストールするドライバを選択し、［実行］をクリックする

⑨ 画面の指示に従ってアンインストールを行う
※ CD-ROM のメニュー画面から［ドライバのアンインストール］をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

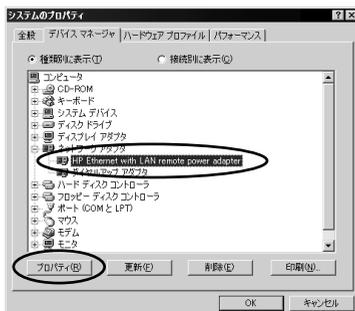
LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと子機が使用できない場合があります。以下の操作で LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、らくらくウィザードで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows® XP の場合〉

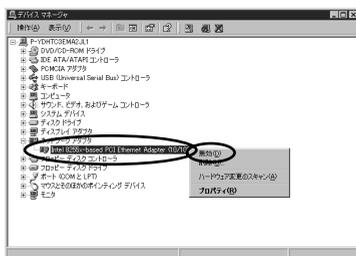
① ［スタート］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

〈Windows® Me の場合〉

① ［スタート］―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする

⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックし、［OK］をクリックする

LANカードまたはLANボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000 Professionalの場合〉

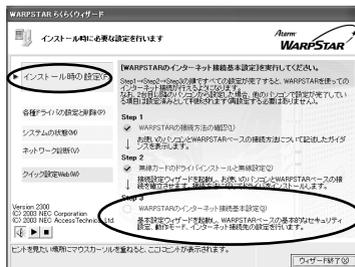
① ［スタート］―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

お知らせ

●本商品は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能として暗号化とMACアドレスフィルタリングおよびESS-IDステルス機能を搭載しています。（「6-1　セキュリティ対策をする」☛P6-2）

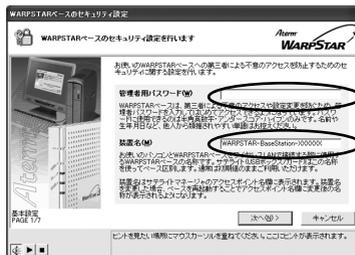
Step3　WARPSTAR のインターネット接続基本設定

接続回線を選択し、インターネット接続のための基本設定を行います。

1 ［インストール時の設定］の［Step3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定］をクリックする

2 セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］に親機の設定を変更するためのパスワードを入力する。
パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］には、親機の名称を入力する。
通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄	

3 ［次へ］をクリックする

4 利用している接続回線を選択し、［次へ］をクリックする

ADSL 接続、FTTH ・光ファイバ接続を選択した場合は手順 5 に進みます。
CATV 接続、LAN 接続を選択した場合は手順 6 に進みます。

5 利用している接続事業者（動作モード）を選択し、［次へ］をクリックする

お使いの接続事業者が画面に表示されていない場合は、［その他］を選択し、［次へ］をクリックします。（☛ 下記）
※画面は ADSL 接続の場合の例です。

●［NTT 東日本／NTT 西日本 フレッツ ADSL］を選択し、［次へ］をクリックした場合

※次の画面が表示された場合は、ADSL モデムの種類を確認してください。

・ブリッジタイプの ADSL モデムの場合は、［はい］をクリックします。
・ルータタイプの ADSL モデムの場合は、［いいえ］をクリックし、ローカルルータモードに設定してください。

●［その他］を選択し、［次へ］をクリックした場合

● ご使用の環境に合わせて動作モードを選択し、［次へ］をクリックする

※回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。
［ご利用事業者と動作モードについて］をクリックしても確認できます。

※次の画面が表示された場合、本商品のブロードバンド接続ポート側にルータなどの DHCP サーバを検出しています。［OK］をクリックして、ローカルルータモードに設定してください。

3 らくらくウィザードで WARPSTAR を設定する

（次ページに続く）

お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムご使用時の、無線HUBモードとローカルルータモードの使い分け

無線HUBモードとローカルルータモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

		無線HUBモード	ローカルルータモード
お勧めの環境		ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。 無線LANのモードやセキュリティを頻繁に切り替えたい場合。
制限事項など			
	ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
	UPnP機能	ブロードバンドモデムのUPnP機能をご利用いただけます。	UPnP機能は使用できません。
	本商品の設定（クイック設定Webやサテライトマネージャの親機同時設定など）	設定は行えません。ローカルルータモードに戻して設定してください。	設定を行えます。
	ブロードバンドモデムの接続	ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは、本商品のETHERNETポート（PC1～PC4）に接続してください。	ブロードバンド接続ポートに接続します。

●WAN側に接続するルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品のIPアドレスを変更する必要があります。（☛P7-10）

●本商品の動作モードについて

PPPoEモード　：フレッツ・ADSL、BフレッツなどPPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード　：PPPoEモードを使用しない場合に設定してください。

＜回線種別と動作モード＞

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT東日本／西日本 Bフレッツ	PPPoEモード（※1）
	東京電力 TEPCOひかり	
	ケイ・オプティコム eoメガファイバー（ホームタイプ）	
	有線ブロードネットワークス （IP接続で接続する事業者の場合）	ローカルルータモード
ADSL回線に接続	NTT東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoEモード ただし、ルータタイプのADSLモデムを利用する場合は、無線HUBモードでの利用をお勧めします。
	イー・アクセス（※2）	ローカルルータモードまたは、無線HUBモード（※3）
	アッカ・ネットワークス（※2）	
	その他のADSL接続業者（※2）	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV回線に接続	―	ローカルルータモード
社内LANなどのネットワークに接続	―	ローカルルータモード

※1 PPPoE接続の場合、不明な時はFTTH事業者に確認してください。
※2 プロバイダまたはADSL事業者によっては、ADSLモデムがPPPoEによるブリッジタイプまたは、PPPoEによるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSLモデムをPPPoEによるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードはPPPoEモードを選択してください。
※3 ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線HUBモードでご利用ください。（☛P3-18）

6 表示される画面にあわせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、［次へ］をクリックする

●PPPoEモードの場合

「利用するプロバイダの情報を設定します」画面が表示されます。

① ［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

（次ページに続く）

② 接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログインID」（接続ユーザー名）（例：XXXXX@biglobe.ne.jpなど）と「ログインパスワード」を入力する。
[プライマリDNS]、[セカンダリDNS]をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

●ローカルルータモードの場合

「インターネット接続に必要な基本情報を設定します」画面が表示されます。
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

DHCPクライアント機能：

WAN側のIPアドレスを自動で取得する場合は［WAN側をDHCPクライアントとして扱う］に☑します。接続事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IPアドレス/ネットマスク：

接続事業者から固定IPアドレスを指定されている場合は、そのIPアドレス、ネットマスクを入力します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

接続事業者から指定されている場合は入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリDNS：

サーバから自動で取得する場合は、［サーバから自動取得した値を使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

7

設定内容を確認し、[実行] をクリックする

※画面はローカルルータモードの例です。

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

8

●ローカルルータモードの場合

①次の画面が表示されるので、親機との接続を確認して［OK］をクリックする。

※「WAN側IPとLAN側IPが競合しています。」という画面が表示される場合は、[OK] をクリックしてください。LAN側（本商品）のIPアドレスが自動的に変更になります。クイック設定Webを本商品のIPアドレスで起動するときは、変更されたIPアドレスで起動してください。

② WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認し、[設定終了] をクリックする。

WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置と正しく接続されていません。接続を確認してStep3をやり直してください。

● PPPoEモードの場合

[設定終了] をクリックする。

（次ページに続く）

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する

10 ［ウィザード終了］をクリックし、らくらくウィザードを終了する

これでインターネットに接続する設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」（☛P5-1）に進みます。

ローカルルータモードで WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
［IP アドレス情報（WAN）］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☛P1-10、P2-4）
それでも IP アドレスがとれない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない」（☛P7-9）を参照してください。

〈IP アドレスがとれているとき〉

〈IP アドレスがとれていないとき〉

お知らせ

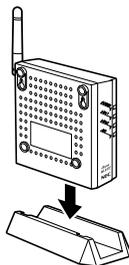
●管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。（☛P7-26）
初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやり直してください。

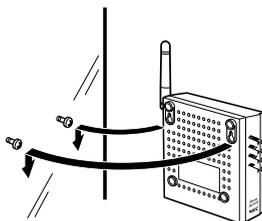
3-2 子機（WL54TE）から無線LAN接続する

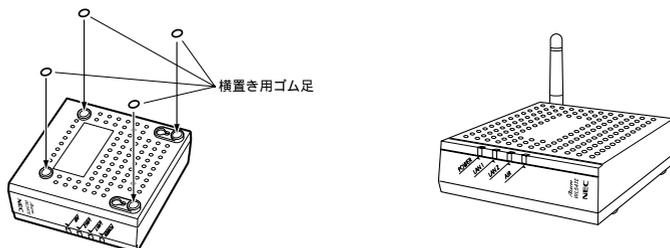
子機（WL54TE）で無線LAN接続する場合

子機（WL54TE）をパソコンに接続するときは、①子機（WL54TE）の設置→②パソコンに子機と子機の接続→③無線LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくウィザードで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくウィザードをインストールしてください。

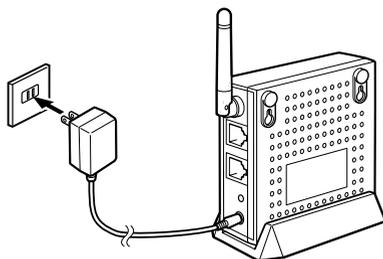
縦置きの場合

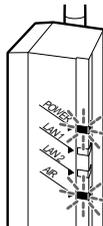
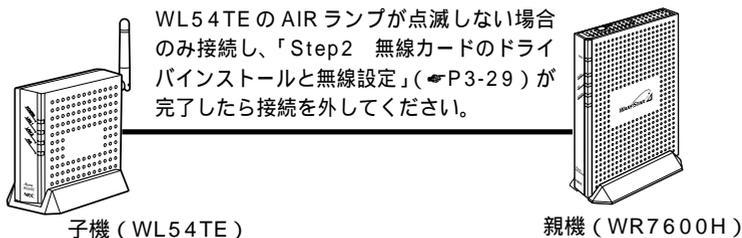
図のように縦置きスタンドを取り付けます。
設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置してください。
※スタンドと本体の向きを合わせてください。

壁掛けの場合

図のように壁に取り付けます。
※壁に取り付ける際は、あらかじめ壁掛け用台紙に合わせて添付のネジで取り付けてください。

横置きの場合

添付の横置き用のゴム足を取り付け、図のように設置します。

子機（WL54TE）の電源を接続する

1 **AC アダプタを WL54TE に取り付ける**

2 **WL54TE の AC アダプタを電源コンセントに接続する**

3 **WL54TE の POWER ランプが緑点灯することを確認する**

※親機（WARPSTAR ベース／ワイヤレス LAN アクセスポイント）と無線接続されていると、しばらくして AIR ランプが点滅します。セット品以外は本章の無線設定（P3-34 まで）が完了するまで点灯しません。（☛P1-12）

無線設定がされていないと AIR ランプが点滅しません。この場合は、以下の接続をして WL54TE の電源を入れ直したあと、以降の設定を行ってください。

WL54TE の AIR ランプが点滅しない場合のみ接続し、「Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定」（☛P3-29）が完了したら接続を外してください。

子機（WL54TE）

親機（WR7600H）

注意

子機（WL54TE）とパソコンは、らくらくウィザードの「インストール時の設定」の「Step2 無線カードのドライバインストールと無線設定」で指示があるまで接続しないでください。

お願い

ゲーム機の MAC アドレスを必要とするゲームアプリケーションをご利用の際に、複数台の機器を接続する場合は、以下の手順で接続してください。

①親機（WR7600H）と WL54TE の無線接続を確立する

②ゲーム機を WL54TE の ETHERNET ポートに接続する

（接続は LAN1、LAN2 どちらでもかまいません。もう片方の ETHERNET ポートには、他の機器を接続しないでください。）

③ WL54TE の電源をいれ直す

この手順後は、空いている ETHERNET ポートにパソコンやゲーム機を接続することができます。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。（既にインストールが完了している場合は、P3-28に進みます。）

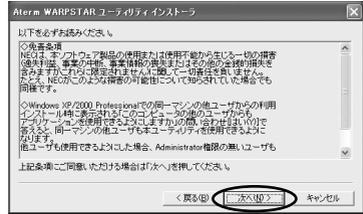
1 Windows® XP/2000 Professional/Meを起動する

Windows® XP/2000 Professionalの場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは（☞P3-28）

3 ［WARPSTARのセットアップの開始］をクリックする

4 ［次へ］をクリックする

5 ［次へ］をクリックする

6 **画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする**

7 **［すべて］を選択し［次へ］をクリックする**

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

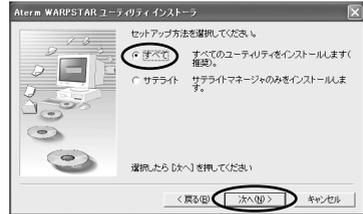
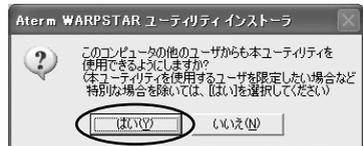
8 **表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする**

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 **［はい］をクリックする**

インストールが開始されます。

10 **［はい］をクリックする**

11
［README の表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

（次ページに続く）

12 READMEをよく読み、[README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROMのメニュー画面の［終了］をクリックする

CD-ROMのメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニューを終了すると表示されます。

「Step1　WARPSTARの接続方法の確認」（☞ 下記）に進みます。

らくらくウィザードの音声ガイダンスについて

らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスは画面左下の をクリックして、再生か再生禁止の切り替えができます。

らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTARユーティリティ］—［らくらくウィザード］をクリックします。

メインメニュー画面が表示されない場合には

添付のCD-ROMをセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

① Windows®の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROMドライブ名と\Menu.exeと入力し、[OK］をクリックする
（例：CD-ROMドライブ名がQの場合、Q:\Menu.exe）

Step1　WARPSTARの接続方法の確認

1 らくらくウィザードを起動する（☞ 上記）

2 ［次へ］をクリックする

3 ［インストール時の設定］の［Step1:WARPSTAR の接続方法の確認］をクリックし、接続方法を確認する

本取扱説明書の 2 章の操作で接続が完了している場合は［Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定］に進みます。

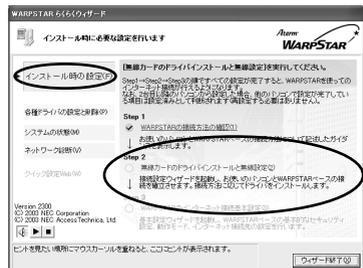
注意

WL54TE の AIR ランプが点灯している場合は、パソコンの ETHERNET ポートと WL54TE を接続して、［システムの状態］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。
Step2 は✔になれば Step2 の設定は必要ありません。Step3 に進みます。

Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定

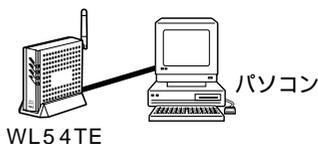
お願い

●子機は、手順 2 の画面が表示されるまでパソコンの ETHERNET ポートに子機（WL54TE）を接続しないでください。

1 ［インストール時の設定］の［Step2 無線カードのドライバインストールと無線設定］をクリックする

（次ページに続く）

3 らくらくウィザードで WARPSTAR を設定する

2 次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

①WL54TE の ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

②WL54TE の LAN ランプが緑または橙点灯することを確認する

3 次の画面が出たら［OK］をクリックする

※WL54TE を接続しても 1 分以上、手順 3 の画面が表示されない場合は、次のことを確認してください。

①WL54TE の AIR ランプが点滅していますか？

はい： WL54TE と WR7600H を ETHERNET ケーブルで接続していませんか？
AIR ランプが点滅している場合は、WL54TE と WR7600H は ETHERNET ケーブルで接続しないでください。

いいえ： WL54TE と WR7600H を ETHERNET ケーブルで接続していますか？
AIR ランプが消灯している場合は、WL54TE と WR7600H を ETHERNET ケーブルで接続してください。

②WL54TE の電源を入れ直してから、パソコンの IP アドレスを確認してください。
192.168.0.XXX になっていますか？

はい： 再度 STEP2 の設定を行ってください。

いいえ：IP アドレスを再取得してください。(☛P1-16)

4 次の画面で［接続対象］確認し、［接続設定］をクリックする

親機の接続対象が WR7600H に、子機の接続対象が WL54TE になっていることを確認してください。（MAC アドレスで確認してください。）

ワイヤレスセット（TE）は、すでに WR7600H（親機）と WL54TE（子機）の無線設定がされた状態で出荷していますので、通常はここでの無線設定は必要ありません。設定を変更する場合は、「子機の通信の設定をする」（☛P6-9）を参照してください。

5 ［ネットワーク名（ESS-ID）］にネットワーク名を入力する

（次ページに続く）

6 暗号化を設定する

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する
②暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択する
「64bit」(弱)＜「128bit」＜「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。
③［指定方法］で［英数字］または［16 進］を選択する
④［使用キー番号］を［キー 1 番〜キー 4 番］から選択する
⑤④で指定したキー番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

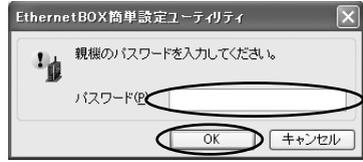
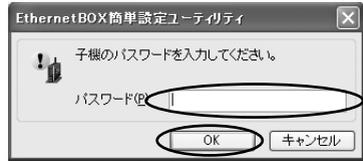
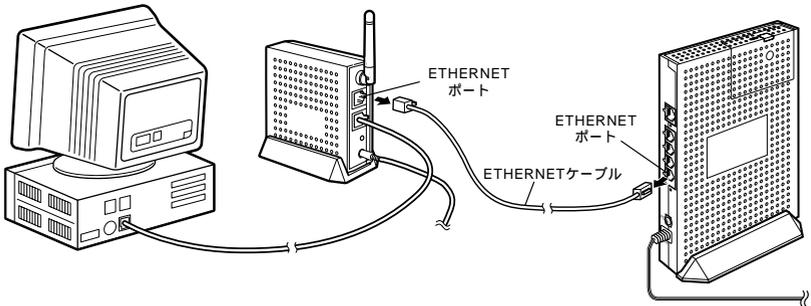
①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する
②WPA 暗号化キーを入力する
WPA 暗号化キーは、8 〜 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

7 [詳細設定]で次の設定を行う

ESS-ID ステルス機能を利用する場合は［ESS-ID ステルス機能を有効にする］に☑を入れます。
※親機の設定も行う場合に表示されます。

8 [親機＆子機設定]をクリックする

※[親機のみ設定]または、［子機のみ設定］をクリックして、親機または子機のみの設定を変更することもできます。

9 **次の画面が表示されたら親機の管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

10 **次の画面が表示されたら子機（WL54TE）のパスワードを入力し、［OK］をクリックする**

11 **WL54TEのETHERNETポートと親機のETHERNETポートを接続していた場合は、画面の指示に従って、ETHERNETケーブルを取り外し、［OK］をクリックする**

12 **［設定終了］をクリックする**

（次ページに続く）

3 らくらくウィザードでWARPSTARを設定する

13 らくらくウィザード画面に戻り、Step2に✔がつくことを確認する

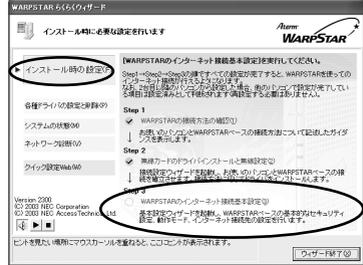
これで子機の無線設定が完了です。「Step3　WARPSTARのインターネット接続基本設定」（☛P3-35）に進みます。

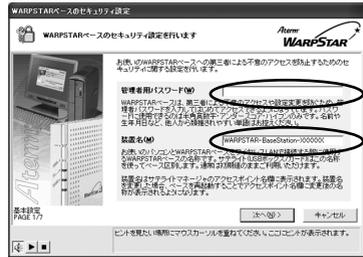
お知らせ

●以降の設定をクイック設定Webで行うこともできます。（「4章　クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う」☛P4-1）

Step3　WARPSTAR のインターネット接続基本設定

接続回線を選択し、インターネット接続のための基本設定を行います。

1 ［インストール時の設定］の［Step3 WARPSTAR のインターネット接続基本設定］をクリックする

2 セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］に親機の設定を変更するためのパスワードを入力する。
パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

②［装置名］には、親機の名称を入力する。
通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄	

3 ［次へ］をクリックする

4 利用している接続回線を選択し、［次へ］をクリックする

ADSL 接続、FTTH・光ファイバ接続を選択した場合は手順 5 に進みます。
CATV 接続、LAN 接続を選択した場合は手順 6 に進みます。

（次ページに続く）

5 利用している接続事業者（動作モード）を選択し、［次へ］をクリックする

お使いの接続事業者が画面に表示されていない場合は、［その他］を選択し、［次へ］をクリックします。（☛ 下記）
※画面は ADSL 接続の場合の例です。

●［NTT 東日本／NTT 西日本 フレッツ ADSL］を選択し、［次へ］をクリックした場合

※次の画面が表示された場合は、ADSL モデムの種類を確認してください。

・ブリッジタイプの ADSL モデムの場合は、［はい］をクリックします。
・ルータタイプの ADSL モデムの場合は、［いいえ］をクリックし、ローカルルータモードに設定してください。

●［その他］を選択し、［次へ］をクリックした場合

●ご使用の環境に合わせて動作モードを選択し、［次へ］をクリックする
※回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。
［ご利用事業者と動作モードについて］をクリックしても確認できます。

※次の画面が表示された場合、本商品のブロードバンド接続ポート側にルータなどの DHCP サーバを検出しています。［OK］をクリックして、ローカルルータモードに設定してください。

お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムご使用時の、無線HUBモードとローカルルータモードの使い分け

無線HUBモードとローカルルータモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

	無線HUBモード	ローカルルータモード
お勧めの環境	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。 無線LANのモードやセキュリティを頻繁に切り替えたい場合。
制限事項など		
ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
UPnP機能	ブロードバンドモデムのUPnP機能をご利用いただけます。	UPnP機能は使用できません。
本商品の設定（クイック設定Webやサテライトマネージャの親機同時設定など）	設定は行えません。ローカルルータモードに戻して設定してください。	設定を行えます。
ブロードバンドモデムの接続	ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは、本商品のETHERNETポート（PC1～PC4）に接続してください。	ブロードバンド接続ポートに接続します。

●WAN側に接続するルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品のIPアドレスを変更する必要があります。（☛P7-10）

●本商品の動作モードについて

PPPoEモード　：フレッツ・ADSL、Bフレッツなど PPPoEブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード　：PPPoEモードを使用しない場合に設定してください。

（次ページに続く）

＜回線種別と動作モード＞

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT東日本／西日本 Bフレッツ	PPPoEモード（※1）
	東京電力 TEPCOひかり	
	ケイ・オプティコム eoメガファイバー（ホームタイプ）	
	有線ブロードネットワークス （IP接続で接続する事業者の場合）	ローカルルータモード
ADSL回線に接続	NTT東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoEモード ただし、ルータタイプのADSLモデムを利用する場合は、無線HUBモードでの利用をお勧めします。
	イー・アクセス（※2）	ローカルルータモードまたは、無線HUBモード（※3）
	アッカ・ネットワークス（※2）	
	その他のADSL接続業者（※2）	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV回線に接続	―	ローカルルータモード
社内LANなどのネットワークに接続	―	ローカルルータモード

※1 PPPoE接続の場合、不明な時はFTTH事業者に確認してください。
※2 プロバイダまたはADSL事業者によっては、ADSLモデムがPPPoEによるブリッジタイプまたは、PPPoEによるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSLモデムをPPPoEによるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードはPPPoEモードを選択してください。
※3 ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線HUBモードでご利用ください。（☞P3-37）

6 表示される画面にあわせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、［次へ］をクリックする

●PPPoEモードの場合

「利用するプロバイダの情報を設定します」画面が表示されます。

①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

② 接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログインID」（接続ユーザー名）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「ログインパスワード」を入力する。
［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

●ローカルルータモードの場合

「インターネット接続に必要な基本情報を設定します」画面が表示されます。
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

DHCP クライアント機能：
WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IP アドレス/ネットマスク：
接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：
接続事業者から指定されている場合は入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS：
サーバから自動で取得する場合は、［サーバから自動取得した値を使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

（次ページに続く）

7 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

※画面はローカルルータモードの例です。

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

8 ●ローカルルータモードの場合

①次の画面が表示されるので、親機との接続を確認して［OK］をクリックする。

※「WAN側IPとLAN側IPが競合しています。」という画面が表示される場合は、［OK］をクリックしてください。LAN側（本商品）のIPアドレスが自動的に変更になります。クイック設定Webを本商品のIPアドレスで起動するときは、変更されたIPアドレスで起動してください。

② WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認し、［設定終了］をクリックする。
WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置と正しく接続されていません。接続を確認してStep3をやり直してください。

● PPPoEモードの場合

［設定終了］をクリックする。

（次ページに続く）

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する

10 ［ウィザード終了］をクリックし、らくらくウィザードを終了する

これでインターネットに接続する設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」（☞P5-1）に進みます。

？ ローカルルータモードで WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
［IP アドレス情報（WAN）］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☞P1-10、P2-4）
それでも IP アドレスがとれない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない」（☞P7-9）を参照してください。

〈IP アドレスがとれているとき〉

〈IP アドレスがとれていないとき〉

お知らせ

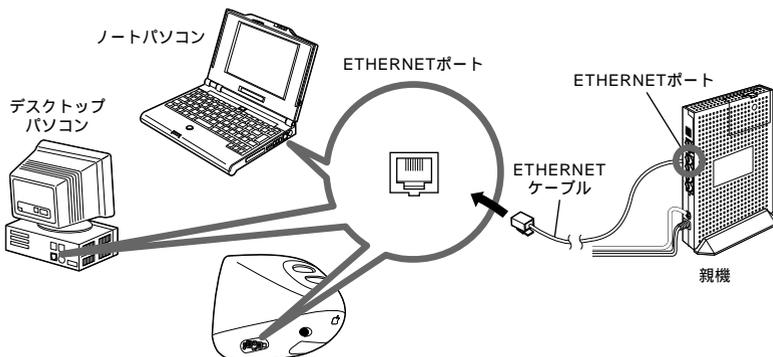
●管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。（☞P7-26）
初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやりなおしてください。

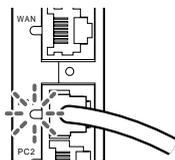
3-3 有線で接続する

親機の ETHERNET ポートにパソコンを接続する

親機の ETHERNET ポートにパソコンを接続するときは、①パソコンの接続→②インターネット接続の設定の順で設定を行っていきます。インターネット接続の設定は、［クイック設定 Web］または［らくらくウィザード］で行います。パソコンを接続したら、設定を行ってください。

1 親機の ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

※添付ケーブルは 1 本のみです。ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用した場合や 2 台目以降を接続する場合は、市販の ETHERNET ケーブルをご購入ください。

2 親機とパソコンの電源が入っていることを確認して、ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する

お願い

●あらかじめ、お使いのパソコンに LAN カード／ LAN ボードの組み込みとネットワークコンポーネントのインストールをしておく必要があります。LAN カード／ LAN ボードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

らくらくウィザードをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくウィザード」をパソコンにインストールします。

● Windows® 以外のOS（Macintosh、Linuxなど）の場合は、「クイック設定Web（ブラウザ設定）」から設定してください。（☞P4-3）

1 Windows® XP/2000 Professional/Meを起動する

Windows® XP/2000 Professionalの場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

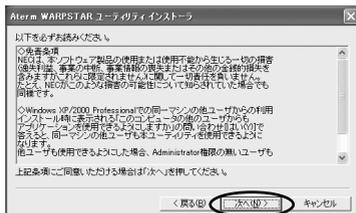
メニューが表示されないときは *（☞P3-6）*

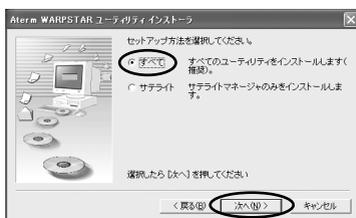
3 ［WARPSTARのセットアップの開始］をクリックする

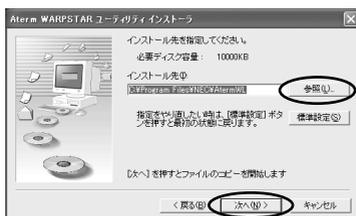
4 ［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

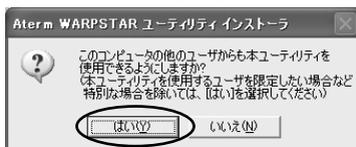
5 **［次へ］をクリックする**

6 **画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする**

7 **［すべて］を選択し［次へ］をクリックする**

［サテライト］を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

8 **表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする**

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 **［はい］をクリックする**

インストールが開始されます。

10 **［はい］をクリックする**

11 ［READMEの表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

らくらくウィザード、サテライトマネージャがインストールされました。

12 READMEをよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、らくらくウィザードが起動します。

13 CD-ROMのメニュー画面の［終了］をクリックする

CD-ROMのメニュー画面の後ろにらくらくウィザード画面が隠れている場合があります。その場合は、メニュー画面を終了すると表示されます。

「Step1　WARPSTARの接続方法の確認」（☞P3-46）に進みます。

らくらくウィザードの音声ガイダンスについて

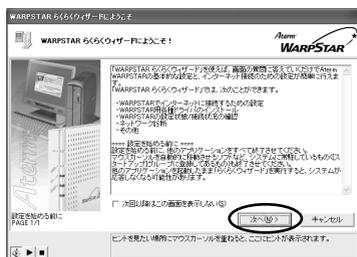
らくらくウィザードでは音声で説明がされます。音声ガイダンスは画面左下の をクリックして、再生か再生禁止の切り替えができます。

らくらくウィザードを起動するには

らくらくウィザードを終了させたあとに、再度らくらくウィザードを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］—［らくらくウィザード］をクリックします。

Step1　WARPSTARの接続方法の確認

1 らくらくウィザードを起動する（☞P3-43）

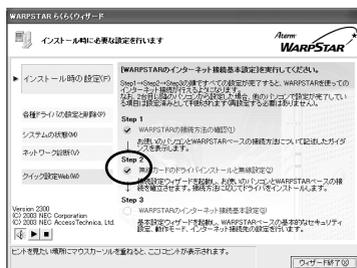
2 ［次へ］をクリックする

3 ［インストール時の設定］の［Step1:WARPSTARの接続方法の確認］をクリックし、接続方法を確認する

本取扱説明書の2章の操作で接続が完了している場合は［Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定］に進みます。

Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定

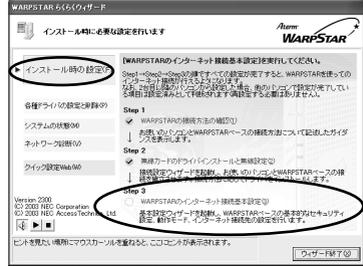
1 Step2に✔がついていることを確認する

ここでは設定の必要はありません。

!が表示されたときは（☞P3-12）

「Step3　WARPSTARのインターネット接続基本設定」（☞P3-47）に進みます。

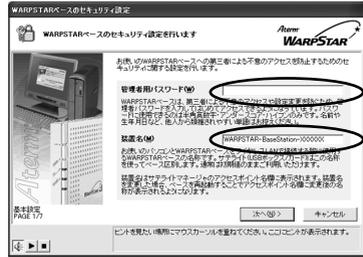
Step3　WARPSTARのインターネット接続基本設定

接続回線を選択し、インターネット接続のための基本設定を行います。

1 ［インストール時の設定］の［Step3 WARPSTARのインターネット接続基本設定］をクリックする

2 セキュリティの設定を入力する

①［管理者用パスワード］に親機の設定を変更するためのパスワードを入力する。
パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。

②［装置名］には、親機の名称を入力する。
通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄	

3 ［次へ］をクリックする

4 利用している接続回線を選択し、［次へ］をクリックする

ADSL接続、FTTH・光ファイバ接続を選択した場合は手順5に進みます。
CATV接続、LAN接続を選択した場合は手順7に進みます。

（次ページに続く）

5 利用している接続事業者（動作モード）を選択し、［次へ］をクリックする

お使いの接続事業者が画面に表示されていない場合は、［その他］を選択し、［次へ］をクリックします。（☛ 下記）
※画面はADSL接続の場合の例です。

●［NTT東日本／NTT西日本 フレッツADSL］を選択し、［次へ］をクリックした場合

※次の画面が表示された場合は、ADSLモデムの種類を確認してください。

・ブリッジタイプのADSLモデムの場合は、［はい］をクリックします。
・ルータタイプのADSLモデムの場合は、［いいえ］をクリックし、ローカルルータモードに設定してください。

●［その他］を選択し、［次へ］をクリックした場合

●ご使用の環境に合わせて動作モードを選択し、［次へ］をクリックする
※回線種別と動作モードについては、次ページのお知らせを参照してください。
［ご利用事業者と動作モードについて］をクリックしても確認できます。

※次の画面が表示された場合、本商品のブロードバンド接続ポート側にルータなどのDHCPサーバを検出しています。［OK］をクリックして、ローカルルータモードに設定してください。

お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムご使用時の、無線 HUB モードとローカルルータモードの使い分け

無線 HUB モードとローカルルータモードでは次のような違いがあります。

ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

	無線 HUB モード	ローカルルータモード
お勧めの環境	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。 無線 LAN のモードやセキュリティを頻繁に切り替えたい場合。
制限事項など		
ルータ機能（パケットフィルタ、ポートマッピングなど）	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
UPnP 機能	ブロードバンドモデムの UPnP 機能をご利用いただけます。	UPnP 機能は使用できません。
本商品の設定（クイック設定 Web やサテライトマネージャの親機同時設定など）	設定は行えません。ローカルルータモードに戻して設定してください。	設定を行えます。
ブロードバンドモデムの接続	ブロードバンド接続ポートは使用できません。ブロードバンドモデムは、本商品の ETHERNET ポート（PC1 ～ PC4）に接続してください。	ブロードバンド接続ポートに接続します。

●WAN 側に接続するルータの IP アドレスが「192.168.0.1」の場合は、本商品の IP アドレスを変更する必要があります。（☞P7-10）

●本商品の動作モードについて

PPPoE モード　：フレッツ・ADSL、B フレッツなど PPPoE ブリッジタイプのブロードバンドモデムと接続する場合に設定します。

ローカルルータモード　：PPPoE モードを使用しない場合に設定してください。

（次ページに続く）

＜回線種別と動作モード＞

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH ・光ファイバに接続	NTT 東日本／西日本 B フレッツ	PPPoE モード（※ 1）
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー（ホームタイプ）	
	有線ブロードネットワークス（IP 接続で接続する事業者の場合）	ローカルルータモード
ADSL 回線に接続	NTT 東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード ただし、ルータタイプの ADSL モデムを利用する場合は、無線 HUB モードでの利用をお勧めします。
	イー・アクセス（※ 2）	ローカルルータモードまたは、無線 HUB モード（※ 3）
	アッカ・ネットワークス（※ 2）	
	その他の ADSL 接続業者（※ 2）	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV 回線に接続	ー	ローカルルータモード
社内 LAN などのネットワークに接続	ー	ローカルルータモード

※ 1 PPPoE 接続の場合、不明な時は FTTH 事業者に確認してください。
※ 2 プロバイダまたは ADSL 事業者によっては、ADSL モデムが PPPoE によるブリッジタイプまたは、PPPoE によるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSL モデムを PPPoE によるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードは PPPoE モードを選択してください。
※ 3 ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線 HUB モードでご利用ください。（☛P3-49）

6 表示される画面にあわせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、［次へ］をクリックする

●PPPoE モードの場合

「利用するプロバイダの情報を設定します」画面が表示されます。

① ［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

② 接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ログインID」（接続ユーザー名）（例：XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力する。
［プライマリ DNS］、［セカンダリ DNS］をプロバイダなどから指定されている場合は、半角英数字で入力します。

●ローカルルータモードの場合

「インターネット接続に必要な基本情報を設定します」画面が表示されます。
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

DHCP クライアント機能：
WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［WAN 側を DHCP クライアントとして扱う］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IP アドレス/ネットマスク：
接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：
接続事業者から指定されている場合は入力します。特に指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ／セカンダリ DNS ：
サーバから自動で取得する場合は、［サーバから自動取得した値を使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

（次ページに続く）

7 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

※画面はローカルルータモードの例です。

親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

8 ●ローカルルータモードの場合

①次の画面が表示されるので、親機との接続を確認して［OK］をクリックする。

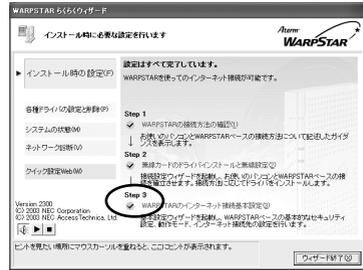
※「WAN 側 IP と LAN 側 IP が競合しています。」という画面が表示される場合は、［OK］をクリックしてください。LAN 側（本商品）の IP アドレスが自動的に変更になります。クイック設定 Web を本商品の IP アドレスで起動するときは、変更された IP アドレスで起動してください。

② WAN 側 IP アドレスの欄に IP アドレスが表示されていることを確認し、［設定終了］をクリックする。

WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置と正しく接続されていません。接続を確認して Step3 をやり直してください。

● PPPoE モードの場合

［設定終了］をクリックする。

9 らくらくウィザード画面に戻り、Step3 に✔マークがつくことを確認する

10 ［ウィザード終了］をクリックし、らくらくウィザードを終了する

これでインターネットに接続する設定は完了です。「5 章　インターネットに接続する」（☛P5-1）に進みます。

ローカルルータモードで WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくウィザードの［ネットワーク診断］をクリックし、［インターネット接続（PC →インターネット）の診断］をクリックします。
［IP アドレス情報（WAN）］タブで IP アドレスが表示されているか確認してください。［再取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム／回線終端装置がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。（☛P1-10、P2-4）
それでも IP アドレスがとれない場合は、「7-1　トラブルシューティング」の「h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない」（☛P7-9）を参照してください。

〈IP アドレスがとれているとき〉

〈IP アドレスがとれていないとき〉

お知らせ

●管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。（☛P7-26）
初期化すると全ての設定がクリアされます。最初から設定をやり直してください。

3-4 無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵のパソコンからWARPSTAR（親機）にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できるNEC製ワイヤレス機器についてはホームページAtermStation（「動作検証情報」－「無線LAN相互接続確認情報」）にて公開しています。

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。

●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプによりWARPSTAR（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。ディップスイッチまたはクイック設定Webで変更します（☞P6-51、CD-ROM）。

・IEEE802.11b、IEEE802.11gの無線規格に対応している場合
　IEEE802.11g+IEEE802.11bモード（初期値）

・IEEE802.11aの無線規格に対応している場合
　IEEE802.11a専用通信モード

無線LAN内蔵パソコンの設定

ご使用の無線LAN内蔵パソコンと親機との無線通信を確立する設定を行います。
ご使用の無線LAN内蔵パソコンの機種やOSによって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XPの場合を例に説明しています。

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する

・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
・ワイヤレススイッチには「ホットキー」タイプと「プッシュ式トグルスイッチ」タイプと「スライド式スイッチ」タイプがあります。それぞれのワイヤレススイッチのオン／オフのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 ［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［通信］－［ネットワーク接続］をクリックする

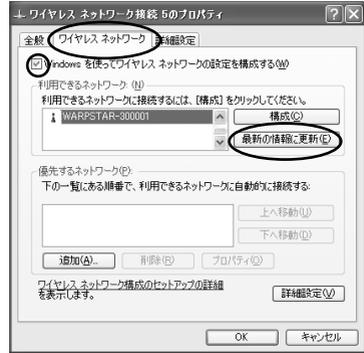
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

3 ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックする

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする

①「Windows ® を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する。

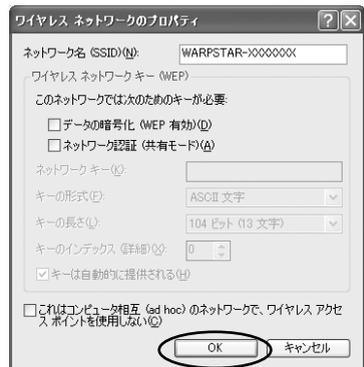
②「最新の情報に更新」ボタンをクリックし、「利用できるネットワーク」欄から接続する親機「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし、「構成」ボタンをクリックする。
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。
本商品（親機）の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは親機の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

お知らせ

●一覧を更新しても本商品（親機）のネットワーク名が表示されない場合は、一度本商品（親機）の電源を切り、再び電源を入れた後で、本商品（親機）前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。

●ESS-IDステルス機能が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に本商品（親機）のネットワーク名が表示されません。ESS-IDステルス機能を解除してやり直してください。

5 ネットワーク名（ESS-ID）と暗号化（WEP）設定を確認して［OK］をクリックする

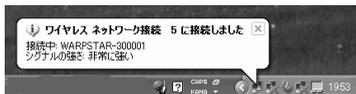
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されセキュリティの設定ができますが、出荷状態のままWARPSTARをご使用の際は、暗号化が設定されていないので、そのままOKを押してください。

（次ページに続く）

お知らせ

●セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
●セキュリティの設定を行う場合、本商品（親機）で暗号キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に親機と同じ暗号キーを入力してください。本商品（親機）の暗号キーの設定方法、確認方法については、P6-7を参照してください。ただし、親機の暗号化の設定が152bitWEPやAES、TKIPを使用している場合は、接続できません。

キーのインデックス（詳細）では0～3が選択できます。
これは、本商品（親機）の［暗号キー/番号］の1番～4番に相当します。
数字が1つずれていますので注意してください。
（Windows® XP SP1の場合は本商品（親機）と同じ1～4が選択できます。）

6 **［OK］ボタンをクリックする**

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

WARPSTARの設定

らくらくウィザードまたは、クイック設定WebでWARPSTARの設定を行います。

■らくらくウィザードで設定する

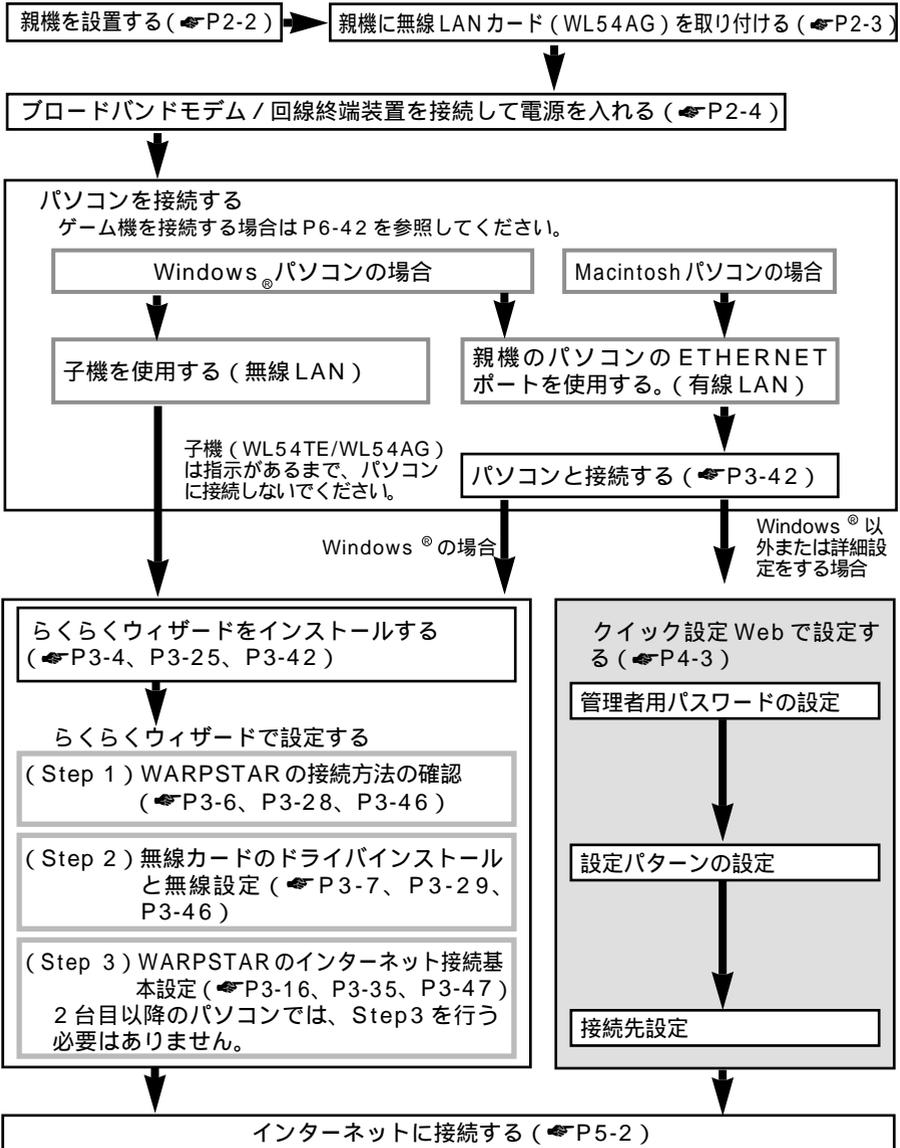
「3-3　有線で接続する」（☞P3-42）と同じ手順で設定を行ってください。

■クイック設定Webで設定する

「4章　クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う」（☞P4-1）を参照して設定を行ってください。

4 クイック設定WebでWARPSTARの設定を行う

設定の流れ

4 章では、親機のクイック設定 Web でインターネットに接続するまでの設定を説明しています。Windows® 以外の OS のパソコンを接続する場合や、ネットワーク対応のゲーム機を接続して設定する場合は、クイック設定 Web で設定します。
また、WARPSTAR の各種機能の詳細設定をする場合もクイック設定 Web で設定します。
※ ワイヤレス子機（WL54AG/WL54TE）を接続する場合や Windows® パソコンでインターネット接続のための基本設定をする場合は、3 章を参照してください。
※ 子機（WL54TE）のクイック設定 Web での設定方法については「6-3　子機（WL54TE）の設定をする（☞P6-22）を参照してください。

4-1 クイック設定 Web で設定を行うには

親機を接続する

クイック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ親機とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。
親機の ETHERNET ポートに接続する場合 ☞P3-42
ゲーム機を接続する場合 ☞P6-42
子機（WL54AG など）から設定を行う場合は、「3-1 子機（WL54AG など）から無線 LAN 接続する」の「Step2 無線カードのドライバのインストールや接続確認」を行った後、設定を行ってください。

クイック設定 Web を利用するための準備

親機と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

① ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
② “ ipconfig /renew ” を入力して［Enter］キーを押す
③ IP アドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する

■Windows® Me/98SE/98 の場合(WL54AG は Windows ®Me のみ)

① ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする
② “ winipcfg ” を入力して［OK］をクリックする
③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして親機と接続しているネットワークアダプタ名を選択する
④ ［すべて解放］をクリックする
⑤ ［再取得］をクリックする
⑥ IP アドレスが “ 192.168.0.XXX ” になることを確認する
⑦ ［OK］をクリックする

■ Mac OS X の場合

① アップルメニューから［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンを選択する
② IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

■ Mac OS 9.x/8.x の場合

① アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択する
② IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する

4-2 インターネット接続のための基本設定

WARPSTARに接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

回線の種別	接続事業者（例）（敬称略）	本商品の動作モード
FTTH・光ファイバに接続	NTT東日本／西日本 Bフレッツ	PPPoEモード（※1）
	東京電力 TEPCOひかり	
	ケイ・オプティコム eoメガファイバー(ホームタイプ)	
	有線ブロードネットワークス (IP接続で接続する事業者の場合)	ローカルルータモード
ADSL回線に接続	NTT東日本／西日本 フレッツ・ADSL	PPPoEモード ただし、ルータタイプのADSLモデムを利用する場合は、無線HUBモードでの利用をお勧めします。
	イー・アクセス（※2）	ローカルルータモードまたは、無線HUBモード（※3）
	アッカ・ネットワークス（※2）	
	その他のADSL接続業者（※2）	
	Yahoo! BB	ローカルルータモード
CATV回線に接続	―	ローカルルータモード
社内LANなどのネットワークに接続	―	ローカルルータモード

※1 PPPoE接続の場合、不明な時はFTTH事業者に確認してください。

※2 プロバイダまたはADSL事業者によっては、ADSLモデムがPPPoEによるブリッジタイプまたは、PPPoEによるブリッジ動作へ変更可能な場合があります。ADSLモデムをPPPoEによるブリッジ動作でご使用の場合は、本商品の動作モードはPPPoEモードを選択してください。

※3ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続すると一部のルータ機能が正しく動作しない場合があります。この場合は、無線HUBモードでご利用ください。(☞P3-18)

●クイック設定Webが起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。(☞P1-16)

お知らせ

●説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
●クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoEの外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品にらくらくウィザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。
●NetFront for ⊿を使ってクイック設定Webで設定を行えるのは、「4-2　インターネット接続のための基本設定」のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/

お知らせ

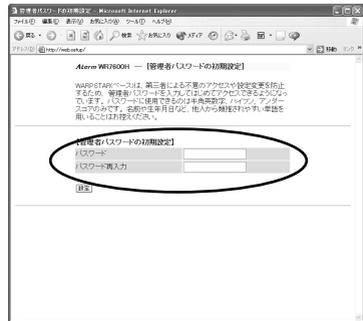
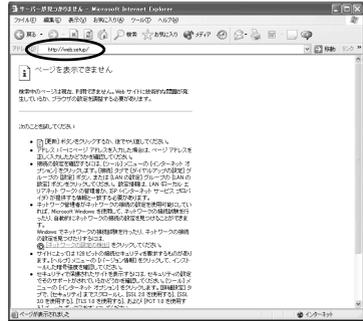
●以下の手順は既にらくらくウィザードやクイック設定 Web で本商品の設定が完了している場合は表示されません。
この場合のクイック設定 Web での設定の方法については添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

3 管理者用パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。
一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

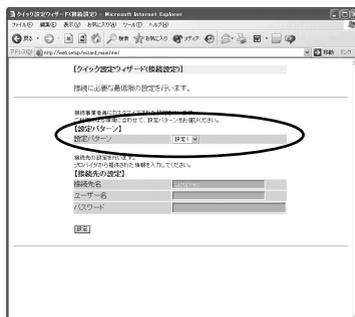
●管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワードメモ欄	

4 ［設定］をクリックする

（次ページに続く）

5 設定パターンを選択する

設定 1	ローカルルータモード ・CATV でご使用の方など、PPPoE 利用指定の無い場合
設定 2	PPPoE 利用モード ・フレッツご利用の方など、PPPoE ご利用の場合

※ P4-4 の表で接続事業者と動作モードを確認してください。

6 ［接続先の設定］をする

手順 5 で「設定 2」を選択した場合は、接続事業者（プロバイダ等）の資料に従って設定してください。

「設定 1」を選択した場合は「接続先の設定」を行う必要はありません。そのまま手順 7 へお進みください。

① ［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
　好きな名称でかまいません。

②接続事業者／プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」（ログイン ID 接続ユーザー名）
（例： XXXXX@biglobe.ne.jp など）と「パスワード」を入力する。

7 入力が完了したら、［設定］をクリックする

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。「5-1　インターネットに接続する」（☞P5-2）に進みます。

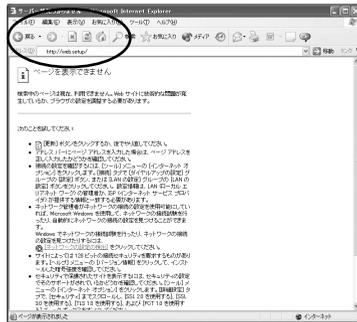
お願い

●CATV インターネット接続サービスの中には、固定 IP アドレスを使用する場合や、DNS ／ゲートウェイサーバ／ドメイン名／ホスト名等をプロバイダから指定される場合があります。この場合は、上記の手順だけではインターネット接続できません。P4-7 の手順でクイック設定 Web を起動し、［基本設定］の［接続先設定］から設定を変更してください。

■クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。
設定方法については、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

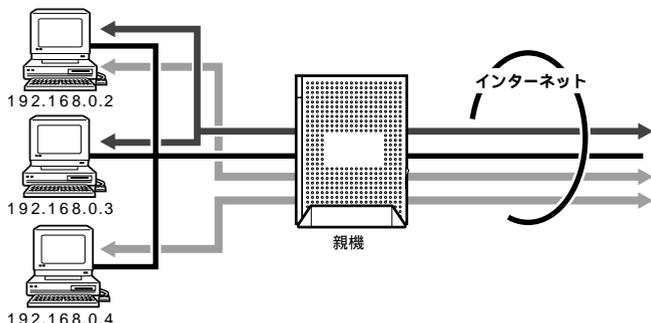
②WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く
親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

③ユーザ名とパスワードを入力する
ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。
らくらくウィザードですでに管理者用パスワードを入力しているときは管理者用パスワードを入力します。
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
※パスワード入力画面が表示されないときには（「WWW ブラウザで設定画面が表示されない」☛P7-7）

④［OK］をクリックする

お願い

●クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして親機を再起動してからでないと有効になりません。

4-3 PPPoEマルチセッションの設定

PPPoEマルチセッションとは、1つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。
接続先の登録数は最大5箇所、同時接続可能セッション数は最大3箇所です。
本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認の上ご使用ください。

接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1箇所とその他の接続先として4箇所までを設定します。
また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN側からWAN側へのパケット振り分けルールを設定します。
LAN側からWAN側へのパケットのうち、上記の「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。
上記の「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかった パケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。

お知らせ

ー制限事項ー

●PPPoEマルチセッションで本商品のUPnP機能をご利用になる場合は、 UPnP機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。
UPnP機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。
※本商品の初期状態では、［接続設定1］がUPnP機能の優先接続先になっています。

クイック設定 Web で設定する

1 **「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先設定」で、それぞれの接続先を設定する**

※ここで複数の接続先を登録しておくと、接続先を切り替えて利用できます。(複数接続先切替機能)

2 **「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先の選択設定」で、「接続可」の接続先と「優先接続」する接続先を選択する**

ここで選択した「接続可」の接続先で、PPPoE マルチセッションを行うことができます。

3 **「詳細設定」の ▼ をクリックし、「静的ルーティング設定」で、パケットの振り分けルールを設定する**

〈静的ルーティングの設定例〉

1 **下記を参考にして各項目を設定する**

[エントリ番号]

編集するエントリ番号を選択します。

[指定方法]

ルーティングエントリの指定方法を選択します。

　宛先ドメイン名指定　：宛先のドメイン名で指定します。
　宛先 IP アドレス指定：宛先の IP アドレスで指定します。
　送信元アドレス指定　：送信元のアドレスで指定します。

[宛先ドメイン名]

ルーティング対象の宛先ドメイン名を指定します。

　例：接続先の URL が、" http://www.aaa.bbb.co.jp " の場合
　　・宛先ドメイン名に「www.aaa.bbb.co.jp」を指定
　　　→「www.aaa.bbb.co.jp」だけを見ることができます。
　　・宛先ドメイン名に「.bbb.co.jp」または「*.bbb.co.jp」を指定
　　　→「.bbb.co.jp」に該当するところをすべて見ることができます。
　　　　(例：ZZZ.bbb.co.jp、XXX.bbb.co.jp、yyy.bbb.co.jp などの URL)
　　　　この場合は、「静的ルーティング設定」で設定した接続先で 接続されます。
　　　　ただし、見ることができたホームページのリンク先で ドメイン(IP アドレス)が変わった場合、そのドメイン名が設定されていなければ、正常なルーティングはできません。

（次ページに続く）

[宛先 IP アドレス]
ルーティング対象の宛先 IP アドレスを指定します。
[ネットマスク]
ネットマスクを指定します。
[送信元アドレス]
ルーティング対象の送信元アドレスを指定します。
IP アドレス、または MAC アドレスが指定可能です。
ただし、MAC アドレスは、DHCP サーバ機能が有効時のみ適用されます。
[インタフェース]
「WAN 側」を選択します。
[ゲートウェイ]
ここでは指定しません。
インタフェースが［LAN 側］、［仮想 DMZ 側］のときゲートウェイを指定します。
[接続先]
接続先を選択します。

2 [編集]をクリックする

3 [最新状態に更新]をクリックする

4 [静的ルーティングエントリ]欄で設定したエントリ番号に☑する

5 [静的ルーティングエントリ]欄で［適用］をクリックする

6 [登録]をクリックする

お知らせ

●「静的ルーティングエントリ」は、下記に示すような順番で優先されます。

①指定方法が「送信元アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

↓

②指定方法が「宛先ドメイン名指定」または「宛先 IP アドレス指定」で、なおかつエントリ番号順

5 インターネットに接続する

5-1 インターネットに接続する

らくらくウィザードまたは、クイック設定 Web で接続設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

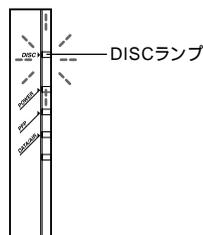
1 WWWブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページ AtermStation ： http://121ware.com/aterm/

3 前面の DISC ランプが緑点灯していることで接続を確認する

クイック設定 Web で［現在の状態］をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することもできます。

インターネットに接続できないときは（「7-1　トラブルシューティング」☞P7-2）

お知らせ

- 回線を強制的に切断する場合は､「5-2 インターネットを切断する」の「DISC スイッチで回線を切断する」を参照してください。（☞P5-3）

5-2 インターネットを切断する

無通信監視タイマ

インターネットへのアクセスが一定時間ないときに通信を切断し、セキュリティを守ります。切断忘れを防止できます。
ホームページを見たり、メールをやりとりする場合には、何らかのデータがやりとりされます。データのやりとりのない状態が一定時間以上続いた場合に、通信を自動的に切断します。ただし、「複数固定 IP サービス」や「常時接続モード」使用時には、設定できません。

〈クイック設定 Web で設定する〉

1　「基本設定」の ▼ をクリックし、「接続先設定」の「接続先の切断」で設定する

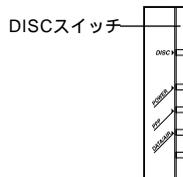
監視時間（60～86,400 秒（24 時間））を 1 秒きざみで設定します。その時間内にデータのやりとりがなければ、通信を切断します。

DISC スイッチで回線を切断する

親機前面の DISC スイッチを使ってインターネット接続を切断し、ブロードバンド網などの WAN 側との接続を不可にすることができます。
すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。

■回線を切断する

1　インターネット接続中に、5 秒以上前面の DISC スイッチを押し続ける

インターネット接続中は DISC ランプが緑点灯しています。

2　インターネットが切断される（2 回ピッピッと鳴ります。）

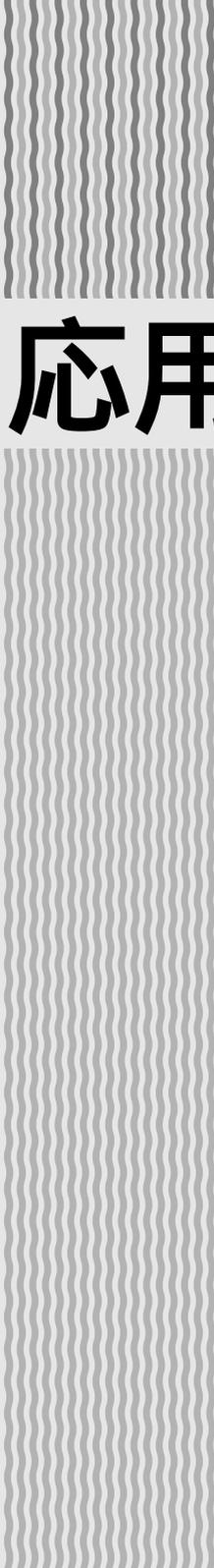
DISC ランプが赤点灯します。

■通常状態に戻すには

1　DISC ランプが赤点灯している状態で、DISC スイッチを 1 秒間押す（ピッと鳴ります。）

DISC ランプが消灯し、通常状態に戻ります。（接続モードが「常時接続」の場合は、緑点灯します。「要求時接続」の場合は消灯になり、インターネットに接続すると緑点灯になります。）

お知らせ

●DISC ランプが赤点灯しているときはインターネットに接続できません。再接続する場合は、DISC スイッチをもう 1 度押して通常状態に戻してください。

応用編

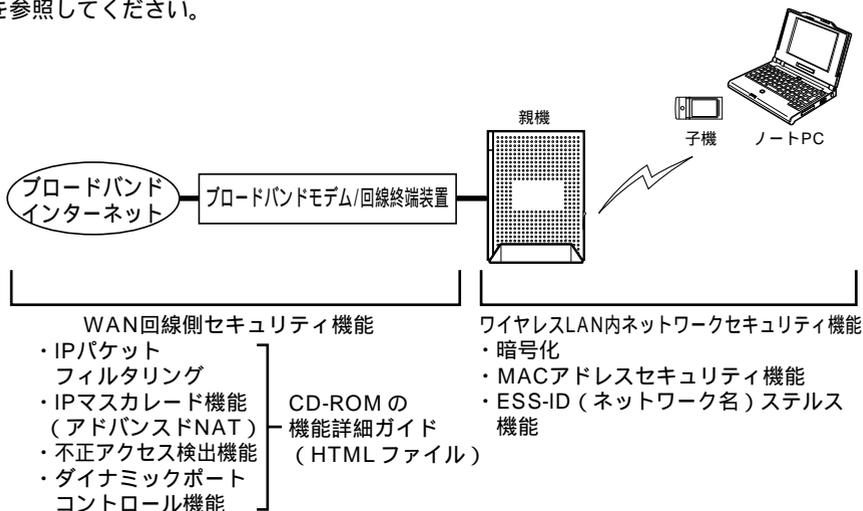
本商品をさらに使いこなそう

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

6 WARPSTARを活用しよう

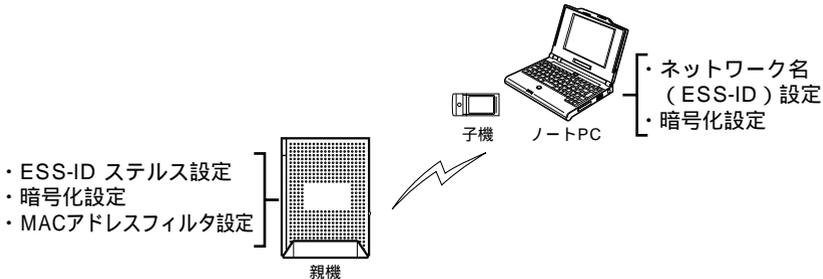
6-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（FTTH/ADSL/CATV網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「ワイヤレスLAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
WAN回線側のセキュリティ対策については、CD-ROM「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）を参照してください。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
  本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
  また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策もあわせて行っていただくことをお勧めします。
- ワイヤレス子機による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
  無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

他の無線LANパソコンから親機に接続できないようにする

本商品は、他の無線LANパソコンから親機や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-IDステルス機能、無線データ暗号化機能、MACアドレスセキュリティ機能を搭載しています。子機が複数台ある場合は、それぞれの子機についてセキュリティの設定を行う必要があります。

ESS-IDステルス機能を設定する

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（ESS-IDとも呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。
一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。子機（WL54AGなど）側では、サテライトマネージャをお使いください。
子機（WL54TE）の場合は「6-3　子機（WL54TE）を設定する」を参照して設定してください。

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

親機のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定]の ▼ をクリックし、[無線LAN側設定]を選択する

（次ページに続く）

5 ［ESS-ID ステルス機能］を［使用する］に☑する

6 ［設定］をクリックする

7 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない子機から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

＜クイック設定 Web で設定する＞

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

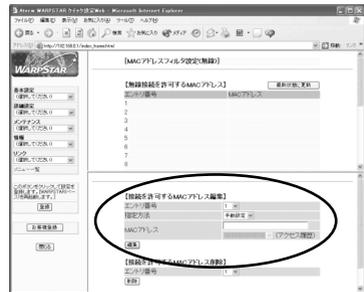
親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［MAC アドレスフィルタ設定］を選択する**

5 **［接続を許可する MAC アドレス編集］欄で設定する**

①エントリ番号を選択する
②指定方法を選択する
　手動設定：MAC アドレスに直接無線接続を許可する子機の MAC アドレスを入力します。
　選択設定：フィルタ無効時は、MAC アドレス（接続履歴）から選択し登録をします。
　　　　　　フィルタ有効時は、MAC アドレス（接続拒否履歴）から選択し登録をします。

③手動設定の場合は、登録する子機の MAC アドレスを入力する
　MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
　例）MAC アドレスが xx-xx-xx-xx-xx-xx と入力する場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xx と入力します。
　子機の MAC アドレスは子機の裏に記載されています。
　選択設定の場合は、「接続履歴」または「接続拒否履歴」から登録する子機の MAC アドレスを選択します。

（次ページに続く）

6 WARPSTARを活用しよう

6 ［編集］をクリックする

続けて設定する場合は、手順 5 にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

7 ［最新状態に更新］をクリックする

設定内容にまちがいがないか確認してください。

8 ［設定］をクリックする

9 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］で、［MAC アドレスフィルタ機能］を［使用する］に ☑ する

10 ［OK］をクリックする

11 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

無線暗号化を設定する

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を親機と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、親機と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

● WEP（Wired Equivalent Privacy）
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

● TKIP（Temporal Key integrity Protocol）
Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

● AES（Advanced Encryption Standard)
米商務省技術標準局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

●暗号化の設定は必ず親機と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。（☛P6-11、P6-18、P6-25）
●暗号化キーは無線アクセスポイント 1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の子機を使用する場合、全ての子機に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。
らくらくウィザードで暗号化の設定を行った場合、暗号化キーは 1 番に設定されています。
●1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した子機が必要です。

＜暗号化の設定（親機）＞

親機の暗号化の設定は、クイック設定 Web で行います。
子機から、らくらくウィザードやサテライトマネージャを使用して親機の設定を同時に変更することができます。（☛P3-8、P3-32、P6-13）

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

（次ページに続く）

4 ［詳細設定］の ▼ をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する

5 ［暗号化］の項目で設定する

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する

②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進数］のどちらかを選択する

※［英数字］→英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16 進］→ 16 進（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）の組み合わせで暗号を作成します。

※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④［使用する暗号化キー番号］を［暗号化キー 1 番号～ 4 番号］で選択する

⑤指定した番号（1 番～ 4 番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

※ 152bitWEP を使用する場合

子機を使用するパソコンが Windows® XP の場合、サテライトマネージャで設定する必要があります。

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②［WPA 暗号化キー］を入力する

暗号化キーは、8 ～ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

③［暗号化更新時間］で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0（更新なし)、1 ～ 1440 分の間で設定できます。

6 ［設定］をクリックする

7 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。（暗号化キーを設定していない子機から接続できなくなります。子機の暗号化の設定を行ってください。）

6-2 子機の通信の設定をする

子機の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護（暗号化）の設定はサテライトマネージャで行います。
子機（WL54TE）を設定する場合は、「6-3 子機（WL54TE）を設定する」（**☞P6-22）を参照してください。**

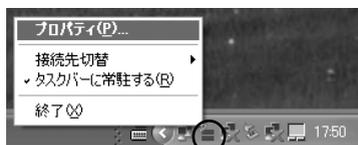
サテライトマネージャの使い方

■サテライトマネージャをインストールする

サテライトマネージャは、「らくらくウィザードをインストールする」を参照してインストールしてください。（**☞P3-4）**

■サテライトマネージャを起動する

1 **［スタート］ー［プログラム］ー［AtermWARPSTAR ユーティリティ］ー［サテライトマネージャ］をクリックする**

2 **タスクトレイの［サテライトマネージャ］のアイコンを右クリックする**

3 **［プロパティ］を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される**

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる親機（アクセスポイント）の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

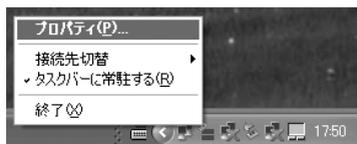
グラフ表示
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度（信号強度）をグラフで表示します。

詳細設定
無線機能の ON/OFF 設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。

■サテライトマネージャで設定する

1 **サテライトマネージャを起動する**
［スタート］－［プログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックする

通知領域（タスクトレイ）に［サテライトマネージャ］が表示されます。

2 **通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

3 **［ネットワーク一覧］タブをクリックする**

4 **接続先のネットワーク名をクリックして、［設定］または［親子同時設定］をクリックする**

親機の出荷時設定は WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

5 無線 LAN の設定を行う

■親機も同時に設定する場合

手順 4 で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

[ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

親機と通信するチャネルを選択します。

[暗号化モード]

●暗号化モードで WEP を使用する場合

①暗号化モード］で［WEP］を選択する

②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する

「64bit」(弱) ＜「128bit」＜「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F で構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②親機に設定した暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8 ～ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

無線モードの選び方

802.11a ････電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。

802.11g ････802.11a よりも広い範囲で高速な通信を行うことができます。

802.11g+b‥802.11b にしか対応していない子機との混在環境での利用に適しています。

6 WARPSTARを活用しよう

（次ページに続く）

■子機のみ設定する場合

手順 4 で「設定」をクリックした場合は、使用する親機にあわせて次のように設定します。

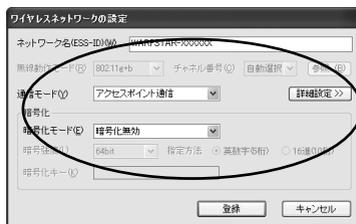
[ネットワーク名]

親機の設定にあわせてネットワーク名を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[通信モード]

アクセスポイント通信を選択します。

[暗号化モード]

親機の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

6 ［登録］をクリックする

- 同じネットワーク名（ESS-ID）を設定した複数の親機（アクセスポイント）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。
- 2 台目以降の子機を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 親機で「WPA-TKIP モード」使用している場合、子機側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも親機に接続できます。

- ［詳細設定］タブをクリックすると、［詳細設定］で次の設定が行えます。

・**省電力モード**

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・**送信出力**

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**

無線通信状態を監視するために子機が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。詳細は添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

［プロパティ］：
通信モードの設定、暗号化、子機のデータ保護設定をすることができます。
［状態］タブで親機との通信状態を詳細に確認することができます。
無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。アクセスポイント名が正しく表示されていることも確認してください。

［接続先切替］：
サテライトマネージャで設定した接続先（親機）を切り替えて使用できます。

［タスクバーに常駐する］：
［タスクバーに常駐する］にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

［終了］：
サテライトマネージャを終了します。

■サテライトマネージャから親機と子機の無線設定を同時に行う

親機が WR7600H のときは、サテライトマネージャで親機と子機の無線設定を同時に変更できます。

1 **サテライトマネージャを起動する**

2 **通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

3 **［ネットワーク一覧］タブをクリックする**

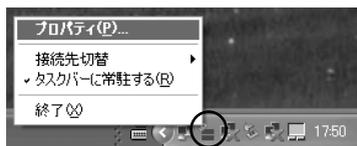
4 **［ネットワーク名］欄で接続する親機を選択する**

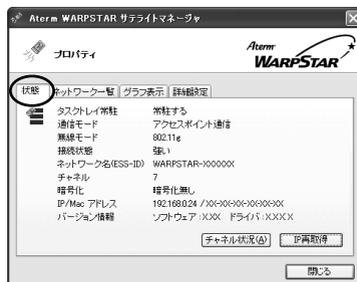
5 **［親子同時設定］をクリックする**

6 **無線 LAN カードと親機の設定を行う（☞P6-11）**

■親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

2 **［状態］タブをクリックする**

親機と子機の通信状態が表示されます。

3 **通信状態を確認し、［閉じる］をクリックする**

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

【状態】－【チャネル状況】

近くのアクセスポイント（親機など）が、どのチャネルで使われているかを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャネルをチェックして切り替えることができます。

現在、接続中のチャネルは赤で表示されます。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。
ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP（152bit）、TKIP、AES、ESS-ID ステルス機能は、ご利用になれません。暗号化無効または WEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。通常は Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

らくらくウィザードで設定を行った場合

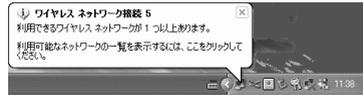
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「閉じる」をクリックする

●暗号化設定されていない親機に接続する場合（☞P6-17）
●暗号化設定されている親機に接続する場合（☞P6-18）

■親機に接続する（親機が暗号化設定されていないとき）

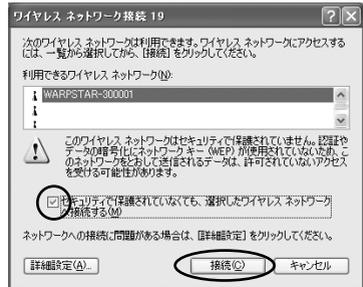
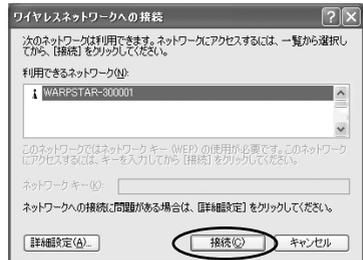
1 **パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される**

表示されないときは（☞P7-5）

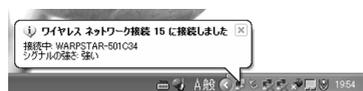
2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする**

3 **「利用できるネットワーク」を選択する**

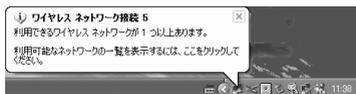
・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは、親機の側面に記載されているラベルのMACアドレスの下6桁）です。

・[利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。

4 **[接続] をクリックする**

5 **パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する**

6
活用しよう WARPSTARを

■暗号化を設定して親機に接続する（親機が暗号化設定されているとき）

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP/128bitWEP をご利用になる場合の説明です。親機に 152bitWEP、TKIP、AES が設定されている場合、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止してサテライトマネージャで設定を行う必要があります。
※暗号化の設定を行う場合は必ず親機側を先に設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される

表示されないときは（☞P7-5）

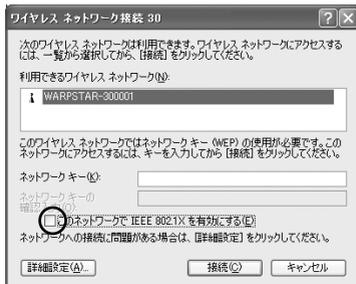
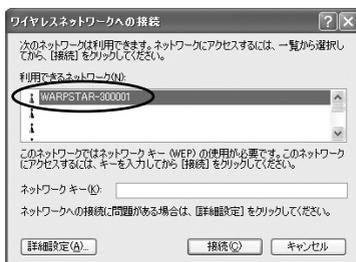
2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

3 「利用できるネットワーク」を選択する

・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は、親機の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。
・［利用できるネットワーク］に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。

お願い

●［このネットワークで IEEE802.1x を有効にする］の☑ は必ず外してください。

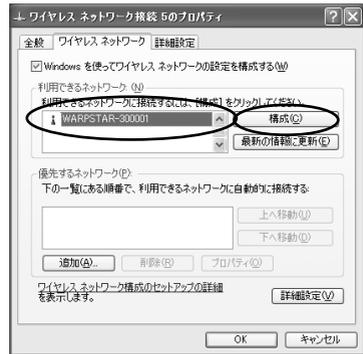
<Windows® XP Service Pack 1 のとき>

4 親機の暗号化キー番号が 1 番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする

※キー番号に 2 番〜 4 番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は手順 5 に進みます。

5 ［詳細設定］をクリックする

6 接続する親機のネットワーク名をクリックし、［構成］をクリックする

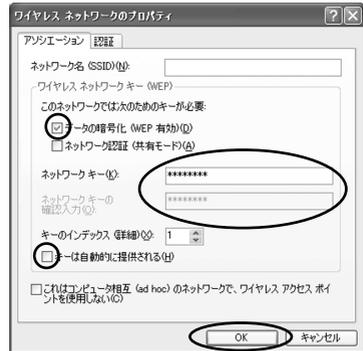
すでに接続する親機のネットワーク名が［優先するネットワーク］に表示されている場合は、［優先するネットワーク］欄からネットワーク名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

7 ①～⑤の設定を行う

①[データの暗号化]にチェックする
（画面に［ネットワークアソシエーション］が表示されている場合は、［開いています］を選択し、データの暗号化は、［WEP］を選択する）

②[キーは、自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII文字/16進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定（13文字は親機に128bitWEPを設定している場合のみ）
- 16進数の場合：0～9・A～Fで10文字、または26文字で指定（26文字は親機に128bitWEPを設定している場合のみ）

④親機の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のままご利用ください。

⑤[OK]をクリックする

画面は例です

暗号化設定＜Windows® XP Service Pack1 以外の場合＞

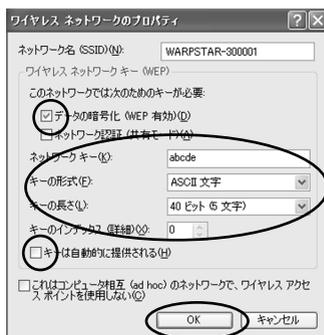
①[データの暗号化] にチェックする
②[キーは、自動的に提供される］のチェックを外す
③[ネットワークキー］は、親機に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：
親機で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。
親機で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：
親機で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。
親機で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：
特に使いません。
0 〜 3 がありますが、0 のままご使用ください。
（1 〜 3 に別の暗号化キーを登録しておき、[キーのインデックス］を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。）

※親機側は、クイック設定 Web の［無線 LAN 側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK］をクリックする

■親機との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 ［状態］をクリックし、［全般］タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

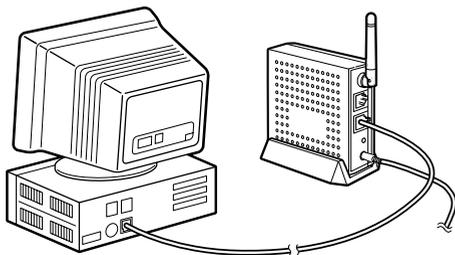
・［状態］は「接続」になっていること
・［速度］が「1～54Mbps」になっていること

6-3 子機（WL54TE）を設定する

ここでは、WL54TE のクイック設定 WEB で子機（WL54TE)のみの設定を行う場合の設定方法を説明しています。
親機と子機の設定をらくらくウィザードで行う場合は、「3-2　子機（WL54TE）から無線 LAN 接続する」（☛P3-23）を参照してください。
ゲーム機から設定する場合は、P6-34 を参照してください。
※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

WL54TE とパソコンを接続する

1 **親機の電源コンセントを取り外す**

2 **ETHERNET ケーブルで WL54TE の ETHERNET ポートとパソコンやゲーム機の ETHERNET ポートを接続する**

※ AIR ランプが消灯していることを確認する。

3 **パソコンの IP アドレスを固定に設定する**

「パソコンのネットワークの確認」（☛P1-16）を参照して次のように設定してください。

IP アドレス： 192.168.0.XXX
（XXX は 2 ～ 199、211 ～ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）
サブネットマスク： 255.255.255.0

親機に接続するための設定を行う

WWW ブラウザで親機との通信ができるようにするための設定を行います。
※らくらくウィザードが使える機器（Windows® XP/2000 Proffessinal/ Me）ではらくらくウィザードでの設定をお勧めします。
お使いの WWW ブラウザによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1
パソコンなどを起動する

2
WWW ブラウザを起動し、本商品の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.205 です）

例：http://192.168.0.205/

WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☛P7-17）

※ WL54TE の IP アドレスを変更した場合はそのアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ☛P6-31）

3
ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま［OK］をクリックする

（「admin」は、半角小文字で入力してください。）

また、パスワードはあとで変更してください。（☛P6-32）

4
［無線 LAN 設定］をクリックする

（次ページに続く）

6　WARPSTARを活用しよう

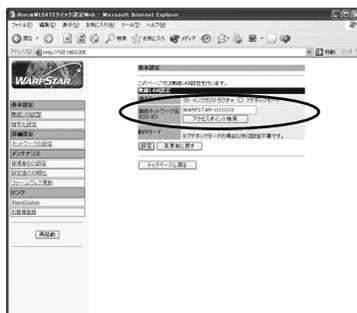
5 通信モードで［インフラストラクチャ］を選択する

6 ［接続ネットッワーク名（ESS-ID）］に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力する

使用する親機のネットワーク名を確認しておいてください。

※ WARPSTAR親機を使う場合、ネットワーク名の初期値はWARPSTAR-xxxxxx（xxxxxxは接続するWARPSTAR親機のMACアドレス下6桁）です。

※ Aterm WR7600Hワイヤレスセット（TE）の場合、工場出荷時のネットワーク名は、無線LAN設定ラベル（WL54TE底面に貼付のラベル）に設定済みになっています。
ただし、初期化した場合は初期値の［WARPSTAR-xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの下6桁）］になりますので、無線LAN設定ラベルのネットワーク名に書き換えてください。

※［アクセスポイント検索］をクリックして選択することもできます。

7 ［設定］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

9 ［再起動］をクリックする

10 ［暗号化設定］をクリックし、親機の暗号化設定にあわせて暗号化の設定を行う

■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する

②［暗号強度］を「64bit［弱い］」「128bit［普通］」「152bit［強い］」から選択する

③［暗号指定方法］で暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進表記］を選択する

※［英数字］→英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16 進表記］→ 16 進表記（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）の組み合わせで暗号を作成します。

※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

④［使用する暗号化キー］を［1 番～ 4 番］から選択する

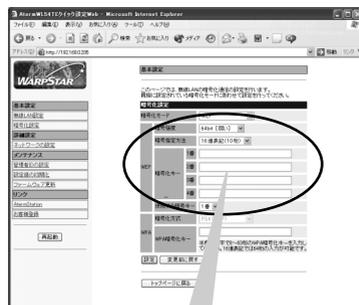
⑤［暗号化キー］は④で指定した番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

※Aterm WR7600H ワイヤレス LAN セット（TE）の場合は、暗号化キー 1 番が設定済みになっています。
ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので無線 LAN 設定ラベル（WL54TE 底面に貼付のラベル）の暗号化キーに設定し直してください。

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

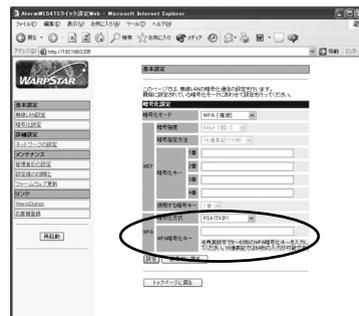
①［暗号化モード］で［WPA［推奨］］を選択する

②［暗号化方式］で［PSK（TKIP)］または［PSK（AES)［推奨］］を選択する

③［WPA 暗号化キー］を入力する
WPA 暗号化キーは、8 ～ 63 桁の英数字、または、64 桁の 16 進表記で入力します。

暗号化キーの入力例：

［64bit］の場合（16進数／10桁）
0123abcdef

［128bit］の場合（16進数／26桁）
0123456789abcdef9876543210

（次ページに続く）

11 ［設定］をクリックする

12 ［OK］をクリックする

13 ［再起動］をクリックする

14 親機の電源コンセントを接続する

無線通信ができているか、WWL54TEのAIRランプが点滅することを確認してください。

重要

WL54TEの設定を終了したあとは、パソコンのIPアドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

お知らせ

●Mac OS XでInternet Explorerをご利用の場合、WWWブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合にはキャッシュの設定を行ってください。（キャッシュの設定☞P6-30）

■暗号化について

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を親機と子機（子機を使用するパソコン）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、親機と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

- **WEP（Wired Equivalent Privacy）**
  IEEE802.11で定められた暗号化方式。
- **TKIP（Temporal Key integrity Protocol）**
  Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
  パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。
- **AES（Advanced Encryption Starndard）**
  米商務省技術標準局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
  WEPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

●暗号化の設定は必ず親機と子機（子機を使用するパソコン）で同じ設定にしてください。
●暗号化キーは無線アクセスポイント1つにつき1つだけ使用します。複数の子機を使用する場合、すべての子機に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。
らくらくウィザードで暗号化の設定を行った場合、暗号化キーは1番に設定されています。
●1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、AES、TKIPの暗号化方式をご利用になるには、対応した子機が必要です。

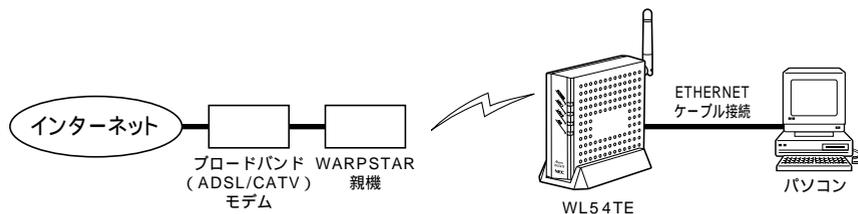
通信する

設定が完了したら実際にインターネットに接続するなどして WL54TE に接続したパソコンから親機へ通信ができることを確認してください。

ここでは次のような構成でインターネットに接続する場合を例に説明します。

1 WWW ブラウザを起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページ AtermStation ： http://121ware.com/aterm/

お知らせ

●WL54TE に接続するパソコンは、使用するネットワーク体系にあわせた IP アドレス／ネットマスクの設定を行ってください。

WWW ブラウザでの設定について

WWW ブラウザでクイック設定 Web を起動し、WL54TE の設定ができます。

起動のしかた

クイック設定 Web は次の方法で起動します

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、本商品の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.205 です）

例：http://192.168.0.205/

WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☞P7-17）

※ WL54TE の IP アドレスを変更した場合はそのアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ☞P6-31）

3 ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま［OK］をクリックする

（「admin」は、半角小文字で入力してください。）

また、パスワードはあとで変更してください。（☞P6-32）

▼

クイック設定 Web が表示されます。

設定の登録のしかた

それぞれのページで［設定］をクリックしたあと、［再起動］をクリックして、WL54TEを再起動することにより設定内容をWL54TEに書き込みます。

お知らせ

●Mac OS XでInternet Explorerをご利用の場合、WWWブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

① Internet Explorerを起動し、メニューバーの［Explorer］－［環境設定］をクリックします。
② ［Webブラウザ］の［詳細設定］をクリックします。
③ ［キャッシュ］－［ページの更新］を［常に］にチェックします。
④ ［OK］をクリックします。

設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

【基本設定】

■無線 LAN 設定

接続ネットワーク名（ESS-ID）や、通信モードを設定します。
詳細については、P6-23 を参照してください。

■暗号化設定

暗号化の設定をします。
詳細については、P6-25 を参照してください。

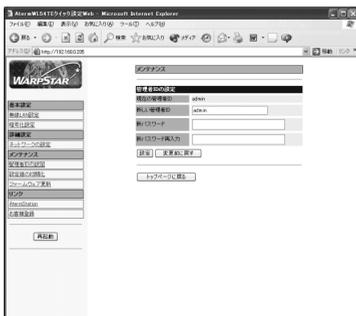
【詳細設定】

■ネットワークの設定

現在のネットワークの状態　：WL54TE の現在の「IP アドレス」「サブネットマスク」を表示しています。

ネットワークの設定
装置 IP アドレスの設定方法：WL54TE の IP アドレスを、親機などの DHCP サーバから自動的に取得するか、手動で設定するかを選択します。
手動設定　：IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定する場合に入力します。

【メンテナンス】

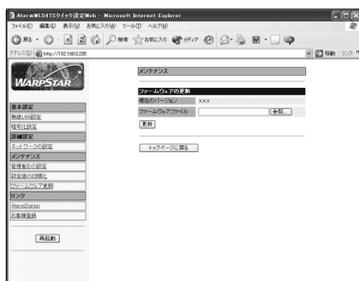
■管理者 ID の設定

管理者 ID　　　　　　　：管理者名（ユーザー名）を変更できます。（初期値： admin）

パスワード　　　　　　：管理者パスワード（パスワード）を設定できます。
（初期値：空欄）
使用できる文字は英数半角文字と半角記号で最大 15 文字まで設定できます。

■設定値の初期化

装置の初期化　　　　　：［装置の初期化］をクリックすると WL54TE の設定が初期値に戻ります。

■ファームウェア更新

次の手順で、本商品のバージョンアップができます。

1. **最新のファームウェアをホームページ AtermStation からダウンロードする**
2. **［参照］をクリックする**
3. **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**
4. **［更新］をクリックする**
5. **［OK］をクリックする**
6. **［OK］をクリックする**
7. **［再起動］をクリックする**

【リンク】

ホームページ AtermStation、お客様登録のページにリンクしています。
AtermStation では商品情報、資料請求、バージョンアップ、サポート情報など、Aterm について役立つ情報を掲載しています。
※お使いのモデムやルータ、およびパソコンの設定環境によってはリンク先に接続できない場合があります。

ゲーム機 PlayStation® 2 用「NetFront for ⊿」で WL54TE の設定を行う場合について

WL54TE の設定は、らくらくウィザードで簡単に行えます。らくらくウィザードをお使いになれるパソコン（Windows® XP/2000 Professional/Me）をお持ちの場合は、いったん WL54TE にパソコンを接続して設定することをお勧めします。（☛P3-23）
パソコンによる設定環境がない場合は、以下の方法で、ゲーム機（PlayStation® 2）「NetFront for ⊿」から設定を行うことができます。
なお、WL54TE の設定を行う前に、無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN 使用チャネルや暗号化設定などの設定を完了させておいてください。（無線 LAN アクセスポイントの設定については、その製品の取扱説明書をご確認ください。）

? *WR7600H ワイヤレスセット（TE）をお買い求めの場合*

WR7600H ワイヤレスセット（TE）では無線 LAN の設定は設定済で出荷しておりますので、通常 WL54TE の設定を変更する必要はありません。設定を変更される場合は、以下の手順に従ってください。

1 設定環境を確認する

WL54TE に接続して設定を行う機器には以下の条件が必要です。

- ETHERNET ポートが装備されていること
- TCP/IP による通信環境が装備されていること
- TCP/IP のネットワーク設定で、固定 IP アドレスの設定が可能であること
- WL54TE のクイック設定 Web を開くことができる WWW ブラウザ機能（“PlayStation® 2” 用の「NetFront for ⊿」）が用意されていること
- WWWブラウザソフトの画面を表示できる出力（テレビ出力など）が装備されていること

2 WL54TE とゲーム機を接続する

WL54TE の ETHERNET ポートと、接続機器の ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで直接接続します。

- WL54TE と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。
- 設定が完了するまでもうひとつの ETHERNET ポートには他の機器を接続しないでください。

3 接続機器のネットワーク設定

設定を行う機器のネットワーク設定画面を開き、以下のとおり設定を行ってください。
機器のIPアドレス： 192.168.0.100
サブネットマスク： 255.255.255.0
※DHCPから自動的にIPアドレスを取得せず、手動設定としてください。
※デフォルトゲートウェイ、DNSサーバなど、それ以外の設定は空欄のままにします。

4 WL54TEのクイック設定Webを開く

・次のアドレスを入力します。
http://192.168.0.205/

クイック設定Webを開けない場合は...
（WR7600Hワイヤレスセット（TE）をご使用の場合も該当します）

「サーバが見つかりません」等のエラーメッセージが出て設定画面を開けない場合は、WL54TEが無線LAN通信などにより、DHCPサーバの存在するネットワークに接続されていて、WL54TEのIPアドレスが書き換わってしまっている可能性があります。
この場合は、ネットワーク内のDHCPサーバ（無線LANアクセスポイントやルータ、ADSLモデムなど）の電源を切り、WL54TEを再起動したうえで、上記操作を行ってください。
DHCPサーバが存在しない状態で、WL54TEを再起動すれば、WL54TEのIPアドレスは、工場出荷時の設定（192.168.0.205）に戻ります。

5 必要な設定を行う

（☞P6-23）を参照して、必要な無線LANの設定を行ってください。

ご注意
（WR7600Hワイヤレスセット（TE）をご使用の場合も該当します）

もし、Web設定画面を開く際に、無線LANアクセスポイントの電源を切っていた場合は、Web設定画面が開けることを確認した後に、無線LANアクセスポイントの電源を入れ直してください。
また、その後は、必要なすべての設定が完了するまで、WL54TEの再起動は行わないようにご注意願います。設定途中で再起動を行うと、再度無線LANアクセスポイントからIPアドレスを取得してしまい、設定画面に戻ってくることができなくなる可能性があります。

（次ページに続く）

6 WL54TE の電源を入れ直す

すべての設定が終わったら、WL54TE の電源を入れ直します。

7 無線 LAN の通信を確認する

WL54TE の AIR ランプが点滅することを確認します。

インターネットへの接続や、オンラインゲームの動作チェックなどにより、通信が正しく行われていることをご確認ください。無線 LAN アクセスポイント側のインターネット接続が正しく行われている必要があります。

もし正しく通信が行えない場合は、無線 LAN アクセスポイントの設定画面などに接続できるかどうかを、接続機器のWWWブラウザソフトを用いて確認してみてください。

WR7600H ワイヤレスセット（TE）をご利用の場合は、WR7600H のクイック設定 Web（http://web.setup/）を開くことにより、無線 LAN の通信確認が行えるとともに、あわせて WR7600H のインターネット接続設定を行うことが可能です。詳しくは、WR7600H の取扱説明書をご覧ください。

重要

WL54TE の設定を終了したあとは、ゲーム機の IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

6-4 ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する

ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する場合、ネットワークゲームによっては設定が必要な場合があります。あらかじめゲームのWebサイトなどでご確認ください。設定方法には次の方法があります。

1.アドバンスドNAT（ポートマッピング）を使う
2.PPPoEブリッジを使う
3.シングルユーザアクセスモードを使う

アドバンスドNAT（ポートマッピング）を設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。
該当ゲームは該当のパソコン1台でのみ利用できます。

1 **パソコンを起動する**

2 **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

親機のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）

3 **ユーザー名に［admin］と入力し、管理者用パスワードを入力する**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **［詳細設定］の ▼ をクリックし、［ポートマッピング設定］をクリックする**

5 **［編集する接続先］の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する**

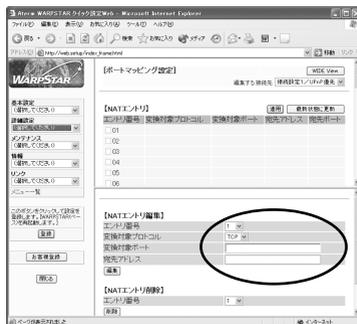
（次ページに続く）

6 ［NATエントリ編集］欄で設定する

①［エントリ番号］で空いている番号を選択する
最大50個設定できます。

②［変換対象プロトコル］で「TCP/UDP/ESP/AH」から選択する

③［変換対象ポート］でポート番号を指定する

④［宛先アドレス］に上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンのIPアドレスを入力する
親機のDHCPサーバ機能を使い、クライアントパソコンにIPアドレスを自動割り当てしている場合は「connectuser」またはMACアドレスを指定します。

7 ［編集］をクリックする

8 ［最新状態に更新］をクリックする

9 ［NATエントリ］欄で設定したエントリ番号を☑にする

10 ［NATエントリ］欄で［適用］をクリックする

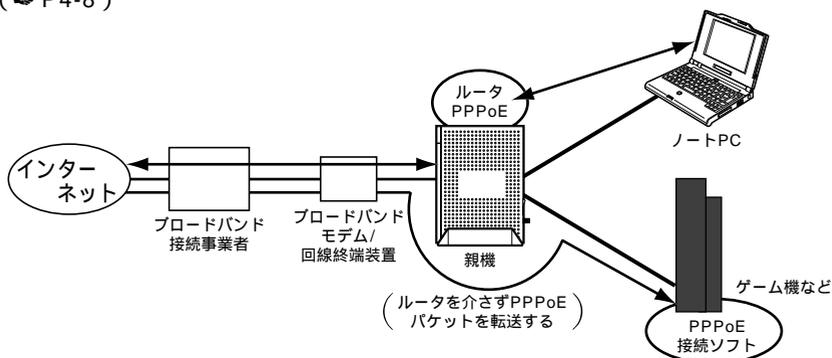
11 ［登録］をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

●ポート、プロトコルについてはアプリケーションの提供元に確認してください。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。
親機が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。(☛P4-8)

■ PPPoE ブリッジ機能でできること

（1）Windows ®　XP でサポートされている次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

リモートデスクトップ

リモートアシスタンス

（2）PPPoE 対応のゲーム機（PlayStation ® 2 など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、親機のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接親機に接続しているブロードバンドモデム/回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

お願い

●アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

●「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフト等をお使いになることをお勧めします。

シングルユーザアクセスモード

シングルユーザアクセスモードとは、一時的に全ポートを独占利用することで、チャットやゲームなどのネットワークアプリケーションを利用する際簡単に利用を可能とするモードです。シングルユーザアクセスモードに設定することで、具体的なTCP／UDPポートの設定をすることなく、また、他の人からの相乗りを禁止（排他利用）したい時などでも利用することができます。

※ 自動接続において、「常時接続」設定では、「シングルユーザアクセス」を利用することができません。かならず、「要求時接続」に変更してください。なお、「要求時接続」では、「通常動作」「シングルユーザアクセス」ともに利用が可能です。

※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になり、セキュリティが低下します。

シングルユーザアクセスモードは、各メーカから提供されているTCP／UDPポートの設定情報で動作しないゲームやアプリケーションがある場合のみ使用し、利用時以外は切断することをお勧めします。

! *PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードの違いと使い分け*

PPPoEブリッジとシングルユーザアクセスモードには次のような違いがあります。特定のポート番号を固定できないアプリケーションを使う場合や、外部からの接続が必要なアプリケーションを使う場合は、お使いの環境に合わせて、PPPoEブリッジ機能または、シングルユーザアクセスモードをお使いください。

PPPoEモードでお使いの場合は、PPPoEブリッジをお勧めします。ローカルルータでお使いの場合は、シングルユーザアクセスモードをお勧めします。

	PPPoEブリッジ機能	**シングルユーザアクセスモード**
利用条件	PPPoEモードの場合のみ	PPPoEモード/ローカルルータモード
IPアドレス	グローバルIPアドレスを取得可	ローカルIPアドレスのみ
自分以外の利用	利用可（※）	利用不可
専用ソフト	必要	不要

※ご契約の接続事業者によって異なります。

■設定方法

＜クイック設定 Web ＞

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

親機の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者用パスワードを入力する**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **インターネット接続先を設定する**

「3 章　らくらくウィザードで WARPSTAR の設定を行う」または、「4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う」を参照してください。

5 **［基本設定］の ▼ をクリックし［基本設定］を選択し、［自動接続］欄の接続モードは「要求時接続」を選択する**

6 **［設定］をクリックする**

7 **自動接続をシングルユーザアクセスモードにしたいときは、「詳細設定」の ▼ をクリックし「高度な設定」を選択し、「NAT モード」は「シングルユーザアクセス」を選択する**

8 **すでに「複数固定 IP サービス」を選択していた場合は、［複数固定 IP サービスを無効にした・・・］画面が表示されるので、［OK］をクリックする**

9 **［設定］をクリックする**

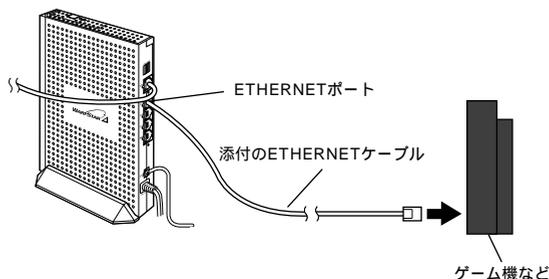
お知らせ

●シングルユーザアクセスモードに設定した場合、「DMZ ホスティング機能」、「複数固定 IP サービス」、「UPnP 機能」、「PPPoE マルチセッション」との併用はできません。

6-5 親機にゲーム機を接続する

親機の ETHERNET ポートにゲーム機を接続することができます。

1 **親機の ETHERNET ポートとゲーム機を ETHERNET ケーブルで接続する**

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 **ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する**

WARPSTAR の設定

WARPSTAR の設定は、WARPSTAR に接続された別のパソコンから行うか、ゲーム機で WWW ブラウザが使用できる場合には、クイック設定 Web で設定します。

■別のパソコンから、らくらくウィザードで設定する

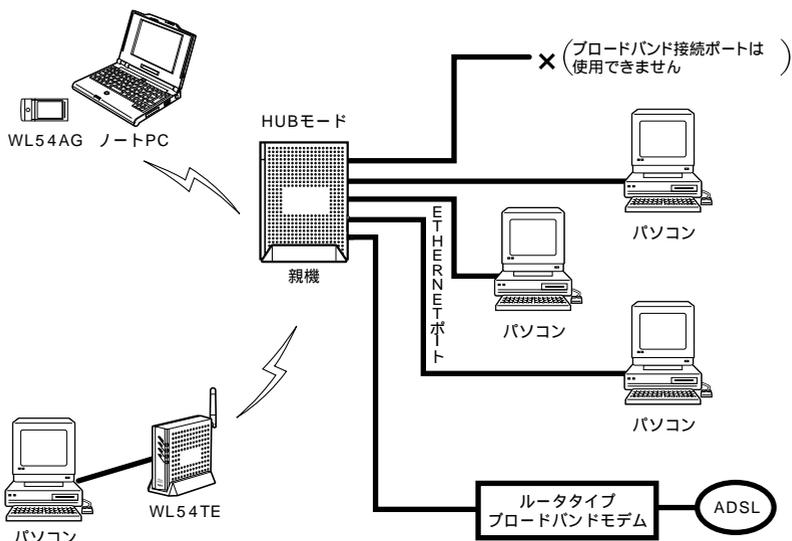
3-1　子機（WL54AG など）から無線 LAN 接続をする（☞P3-3）
3-3　有線で接続する（☞P3-42）

■クイック設定 Web で設定する

4 章　クイック設定 Web で WARPSTAR の設定を行う（☞P4-1）

- WL11E2（別売り）を子機として使用するとワイヤレスでゲーム機を接続することができます。その場合の設定方法については、WL11E2 の取扱説明書をご覧ください。
- 子機（WL54TE）にゲームを接続する場合の設定方法については、「ゲーム機 PlayStation® 2 用「NetFront for ⊿」で WL54TE の設定を行う場合について」（☞P6-34）を参照してください。

6-6 HUBとして使う（ルータ機能を停止する）

本商品では、HUB（ハブ）モードを利用して、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモデムや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。
本モードは「無線HUBモード」と同じです。
本モード設定によりルータ機能が停止し、HUBおよびワイヤレスアクセスポイントとして動作します。

お願い

●親機をHUBモードに設定すると、全てのルータ機能が利用できなくなります。また、らくらくウィザードやクイック設定Webによる各種設定、サテライトマネージャからの親機同時設定もできなくなります。設定変更する場合は、ブロードバンドモデムの接続を外して、ディップスイッチの2を［OFF］にし、HUBモードを解除してから、らくらくウィザードやクイック設定Webで設定を変更してください。
●HUBモードをご利用になる場合は、あらかじめらくらくウィザードやクイック設定Webで無線通信に関する設定を行った後、HUBモードに変更してください。
●ブロードバンドモデム等を接続する場合はETHERNETポートに接続してください。（ブロードバンド接続ポートは使用できません。）

お知らせ

●外付けルータタイプのブロードバンドモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用するHUB（無線HUB）モードをご利用ください。
・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

HUB モード設定

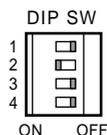
HUB モードを設定するときは次の手順で行います。

無線の設定を変更する場合は、あらかじめクイック設定 Web の「詳細設定」－「無線 LAN 側設定」でネットワーク名、暗号化などを変更しておきます。（☞P6-3）
ブロードバンドモデムを接続している場合は、いったん接続を外します。

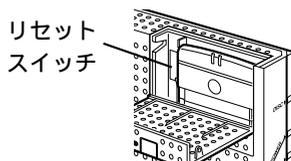
HUB モードに設定する

ディップスイッチで HUB モードに変更します。

1 **親機背面のディップスイッチの 2 を「ON」にする**

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW
1
2
3
4
ON　OFF

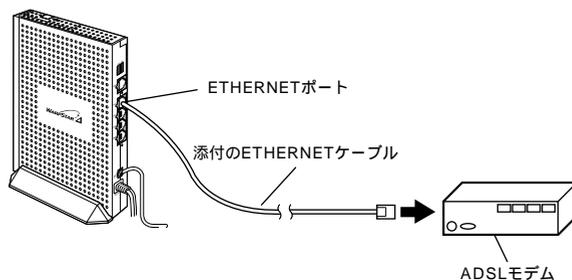
DIP SW2
ON　：HUB モード
OFF：通常モード（初期値）

2 **親機のリセットスイッチを押す**

●ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

親機とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1 親機の背面にある ETHERNET ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

●HUB モードでは、親機背面の一番上にあるブロードバンド接続ポートはご利用になれません。ETHERNET ポートに接続してください。

2 ADSL モデムの電源を入れる

3 親機のリセットスイッチを押す

電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。
※ HUB モードから通常モードに戻すには、ディップスイッチの 2 を「OFF」にし、リセットスイッチを押します。

4 親機の背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。

6-7 TV電話をする（Windows Messengerを利用する）

本商品とパソコンのUPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンのWindows MessengerやMSN Messengerの次の機能をご利用になることができます。

○：使用できます。
－：Windows Messangerの機能としてありません。

機能名	Windows® XP-XP 間の通信	Windows® XP-Me 間の通信	Windows® Me/Me 間の通信
電話をかける	○	○	○
ファイル転送	○	○　※4	利用不可（※2）
音声チャット	○	○	○
ビデオチャット（※1）	○	－	－
アプリケーション共有（※1）	○	－	－
ホワイトボード（※1）	○	－	－
リモートアシスタンス（ファイル転送機能）（※1）	○	－	－
webサイトを共有（※3）	○	○	利用不可（※2）

※1　Windows® XPのみの機能です。
※2　Windows® XP以外のOSではUPnPに未対応であり、また「ファイル転送」の方式は、MSN Messenger 5.0/Windows Messenger 4.7の方式とは変更となっているため、ご利用になれません。
※3　MSN Messengerのみの機能です。
※4　Windows® XPでMSN Messenger 5.0利用時のみご利用になれます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、CD-ROM「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnPの設定をすることで、利用ができます。

お知らせ

●UPnP機能は、Windows® XPまたはWindows® Meのパソコンでのみご利用になれます。
●Windows® 2000/NT4.0で、MSN Messenger4.6をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご利用になれます。
●「電話をかける」サービスは、別途 ブロードバンド接続事業者とのご契約が必要です。
●フレッツ・ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジ機能を使用することで、1台のパソコンのみで利用ができます。
●ルータタイプのADSLモデムにローカルルータモードで接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSLモデムをPPPoEブリッジモードに切り替えて本商品をPPPoEモードに設定するか、本商品を無線HUBモードに設定してお使いください。

6-8 親機をバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては、親機の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

AtermStation からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

お願い

●ファームウェアのバージョンアップ中（約 2 分間）は絶対に本商品の電源を切らないでください。
●ファームウェアをバージョンアップするときは、現在使用しているユーティリティでバージョンアップしてください。そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
●バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows® XP の場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ファームウェアをバージョンアップする

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。

1 **クイック設定 Web を起動する**

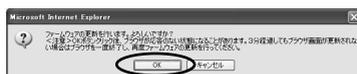
2 **ユーザー名に［admin］と入力し、管理者用パスワードを入力し、「OK」をクリックする。**

3 **「メンテナンス」の▼をクリックし、「ファームウェア更新」を選択する**

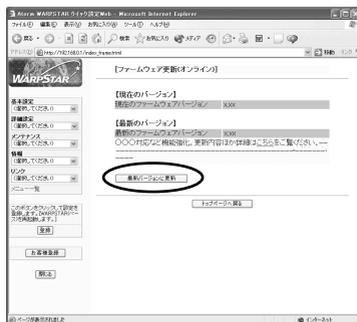
（次ページに続く）

4 ［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する

5 [更新]をクリックする

6 [OK]をクリックする

7 次の画面が表示されますので、電源コンセントを取り外さずにそのまましばらくお待ちください。

8 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックしてください。

バージョンの数字が古い場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。

9 **しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示されます。**

途中で回線が切断される場合がありますが、その時は再度回線を接続してお待ちください。

●バージョンアップの途中で電源を切らないでください。

10 **[OK]をクリックする**

■ユーティリティとファームウェアをバージョンアップする

1 **AtermStation（http:// 121ware.com/aterm/）にアクセスする**

2 **ダウンロードのバージョンアップの項目からお使いの機種とOSを選択し、[GO] をクリックする**

3 **内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする**

4 **ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する**

5 **ダウンロードしたファイルをダブルクリックする**

インストールが始まります。
詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやAtermStationの説明をお読みください。

? こんなときには

－POWERランプがずっと赤点滅したままになっている－

● バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。

6-9 2台目以降のパソコンを接続する

子機を増設する

あとから子機を増設するには、次の手順で設定を行ってください。

親機にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、「6-1　セキュリティ対策をする」（☞P6-2）を参照して子機の情報を登録しておいてください。

らくらくウィザードをインストールする（☞P3-4）

らくらくウィザードで設定する
「Step2 無線カードのドライバインストールと無線設定」（☞P3-7、P3-29）のみ行ってください。
Step3 以降は、1台目のパソコンから設定した内容が親機に書き込まれていますので設定の必要はありません。

親機との通信状態を確認する（☞P6-14、P6-21）

増設した子機からのインターネット接続を確認する（☞P5-2）

●親機に接続できる子機は「8-2　別売オプション」（☞P8-9）やホームページAtermStation（「動作検証情報」ー「ワイヤレスLAN製品接続確認情報」）で確認してください。

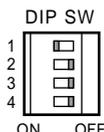
6-10 IEEE802.11a専用通信モードで使う

本商品では、ワイヤレスLAN通信の初期値がIEEE802.11g+IEEE802.11b通信モードに設定されています。そのため、IEEE802.11a通信のみに対応した子機（WL54AC）から通信を行う場合は、クイック設定WebでIEEE802.11aモードに変更しないと、接続できません。ここでは、クイック設定Webからの変更なしにディップスイッチで、本商品を「IEEE802.11a専用通信モード」に設定する方法を説明しています。

IEEE802.11a専用通信モードに設定する

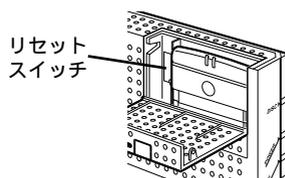
ディップスイッチでIEEE802.11a専用通信モードに変更します。

1 親機背面のディップスイッチの1を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

DIP SW1
ON ：IEEE802.11a専用通信モード
OFF：通常モード（初期値）

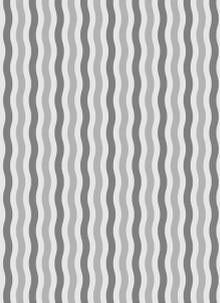
3 リセットスイッチを押す

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

※IEEE802.11a専用通信モードから通常モードに戻すには、親機の電源を切ってからディップスイッチの1を「OFF」にし、親機のリセットスイッチを押します。

●ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

お知らせ

●IEEE802.11a専用モードになっている場合は、らくらくウィザードやクイック設定WebでIEEE802.11g+IEEE802.11b通信モード、IEEE802.11g通信モードに設定できません。

●無線LAN接続が正常に終了して本商品の無線モードをIEEE802.11aに設定完了したら、ディップスイッチでの「IEEE802.11a専用通信モード」は解除してかまいません。

ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

7 お困りのときには

7-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、添付CD-ROM収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(☛P前文-17)
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、親機を初期化し(☛P7-25)、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。(CD-ROM 機能詳細ガイド)

- 設置に関するトラブル ☛ 下記
- ユーティリティに関するトラブル ☛P7-14
- ご利用開始後のトラブル ☛P7-20
- 添付CD-ROMに関するトラブル ☛P7-23

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

親機前面のPOWERランプは点灯していますか? →いいえ(a参照☛P7-3)

↓はい

親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDは点灯していますか? →いいえ(b参照☛P7-3)

↓はい

親機と正しく接続できていますか?

子機からの接続の場合	親機と正しく接続されていますか?(らくらくウィザードで「WARPSTARベース(親機)との通信が確立されていません」「WARPSTARに接続できませんでした」と表示される場合は正しく接続されていません)

→いいえ(c参照☛P7-4)

↓はい

パソコンにIPアドレスが設定されていますか?
(確認方法は、P7-6を参照してください) →いいえ(d参照☛P7-6)

↓はい

親機の設定が行えますか?

WWWブラウザ(クイック設定Web)で親機の設定画面が表示できますか? →いいえ(e参照☛P7-7)

らくらくウィザードが使用できますか? →いいえ(f参照☛P7-8)

↓はい

<PPPoEモードの場合>
設定後、親機前面のPPPランプが点灯していますか?
※ローカルルータモードの場合は、PPPランプは点灯しません。 →いいえ(g参照☛P7-8)

<ローカルルータモードの場合>
- WAN側IPアドレスが正しく表示されていますか?
- クイック設定Webの[情報]-[現在の状態]-[状態表示]でWAN側IPアドレスが表示されていますか?

→いいえ(h参照☛P7-9)

↓はい

インターネットに接続できましたか? →いいえ(i参照☛P7-10)

a.親機前面の POWER ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●電源コードが外れている →電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ●電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると親機に供給されている電源も切れてしまいます。 ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントから外してお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。 ●親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しない

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。 	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていない。 →ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ●親機のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ●ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認する 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5）」であることを確認してください。（☞P8-5）

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。 （つづき）	●本商品のブロードバンド接続ポートと本商品の ETHERNET ポート（PC1）を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 ポート状態表示 LED が 点灯する場合 親機は、問題ありません。 ブロードバンドモデム/回線接続装置が故障している可能性があります。 点灯しない場合 親機を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は親機の故障の可能性があります。最寄りの NEC 保守サービス受付拠点（☛P8-13）へお問い合わせください。

c.らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている

症　状	原因と対策
らくらくウィザードで「WARPSTAR ベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されている	●子機（WL54AG）からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください（☛P6-14）。 通信状態が範囲外または使用不可の場合サテライトマネージャの設定を確認してください。 ●クイック設定 Web などでモードの変更、接続先の登録や更新等、ファームウェアのバージョンアップを行った場合などにも、親機が一時的に機能停止状態になるため、このメッセージが表示される場合があります。 ●暗号化キーが親機、子機間で一致していない 親機と子機の設定を確認してください（☛P6-7、6-11、6-18、6-25）。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートを空ける （アドレス：192.168.0.＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールしてください。 ●子機（WL54AG）から接続している場合は、サテライトマネージャに関する問題（☛P7-17）も参照してください。 ●親機が HUB モードになっている 親機が HUB モードのときは設定は行えません。通常モードに戻して設定してください。（☛P6-43）

症　状	原因と対策
親機とワイヤレス子機間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで子機を移動したり、親機や子機の向きをかえたりして電波状態を確認してください。 ●別売りのワイヤレスLAN外部アンテナ（WL54AG用）（PA-WL/ANT3）〔121ware（http://121ware.com/）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）
Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない。	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●子機のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」をクリックする ②「各種ドライバのアンインストール」をクリックする ③画面の指示に従って、アンインストールを行う ④らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」－「各種ドライバのインストール」をクリックする ⑤画面の指示に従ってドライバをインストールする
子機（WL54TE）のPOWERランプが点灯しない	電源が入っていません。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が外れている →ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWL54TEに供給されている電源も切れてしまいます。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外してお買い上げいただいた販売店やNEC保守サービス受付拠点にご相談ください。
子機（WL54TE）のAIRランプが点滅しない	●親機とWL54TEとの間の無線状態が悪い場合があります。親機とWL54TEを近づけてみてください。 また、親機とWL54TEが近すぎても通信できない場合があります。この場合は1m以上離してご使用ください。 ●設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☛P7-27）

d.パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIP アドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、b の手順で再度パソコンのアドレスを確認する。 b. 次の手順でIP アドレスを取り直す ＜ Windows® XP の場合＞ ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する ＜ Windows® Me の場合＞ ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする ②「winipcfg」と入力して［OK］をクリックする ③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用している Ethernet アダプタ名を選択する ④［解放］をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは［OK］をクリックする ⑤［書き換え］をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する ＜ Windows® 2000 Professional の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

e.WWW ブラウザで親機の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［プロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。親機の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります (☛P1-15、P1-21)。
WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザー名と管理者用パスワードを要求される	●WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザー名と管理者用パスワードを要求されます。 →ユーザ名には、［admin］を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで親機に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 ただし、らくらくウィザードから親機に対して、パスワードを登録した場合は、そのパスワードを入力してください。
親機のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript® が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください（☛P1-22)。
	複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。Web ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。
	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください（☛P1-16)。

（次ページに続く）

f.らくらくウィザードが使用できない

症　状	原因と対策
パソコンのネットワークの設定が正しくされていない	「パソコンのネットワークの確認」の手順で設定を確認してください（☛P1-16）。
らくらくウィザードの［Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定］が正常に終了しない（☛P3-7、P3-29、P3-46）	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。 子機から接続している場合は、P7-4 らくらくウィザードで「親機との通信が確立されていません」または「WARPSTAR に接続できませんでした」と表示されているの原因と対策を参照してください。

g.PPPoE モードで親機前面の PPP ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない	●パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプが点灯します。LINE ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対策してください。 対策後、パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している	●本商品に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダ等から送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っている 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 　接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 　パスワード：半角、全角、大文字、小文字 をあわせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない	●ブロードバンドモデム/回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っているか確認してくだい。 ●接続事業者から指定された IP アドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらくウィザード（☛P3-20、P3-39、P3-51） クイック設定 Web の「基本設定」－「接続設定」（☛P4-6） ●ブロードバンドモデム/回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は WARPSTAR の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源を一旦切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●本商品 WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ●CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の［接続先設定］からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の［接続先設定］からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 親機の MAC アドレスを申請してください。

（次ページに続く）

i.インターネットに接続できない

● ADSL 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 → LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください（☛P1-21）。
インターネット接続中に回線が切断される	● PPPoE モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定 Web の［接続先設定］の［接続先の切断］で設定できます。
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない	● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。 ● 外付けルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 →次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」が "0.0.0.0"になっている (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.2.1" など下から 2 桁目を変更して、［OK］ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。

症　状	原因と対策
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない（つづき）	●次の手順で親機を HUB モードに設定して接続できるか確認してください。 ①親機の電源を切る ②親機のブロードバンド接続ポートと ADSL モデムを接続しているケーブルを外す ③ディップスイッチの 2 を ON にする ④親機の電源を入れる ⑤親機の ETHERNET ポートと ADSL モデムを接続する これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
ADSL（PPPoE）接続できない	●ユーザ ID とパスワードが間違っている → ADSL インターネット接続のユーザ ID は、「*******@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザ ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する親機の動作モードは正しいですか。 →外付け ADSL モデムに接続して使用する場合、お使いの ADSL モデムによって本商品の動作モードが異なります。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 →パソコンの PPPoE 機能を使用すると ADSL サービスによっては、パソコンを 1 台しか接続できません。複数のパソコンを同時に接続できる ADSL サービスを契約せずに、同時に 2 台以上接続したい場合は、ADSL モデム用の PPPoE 接続専用ソフトウェアをパソコンからアンインストールしたり、Windows® XP の PPPoE 機能の使用は止めて、再度、本商品のユーティリティで設定し直してください。 ●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本商品の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
ADSL（PPPoE）接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。
HUB モードで使用しているが、インターネット接続できない	●ADSL モデムをブロードバンド接続ポートに接続していませんか。 HUB モードではブロードバンド接続ポートは使用できません。

（次ページに続く）

● CATV 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん「IP 解放」をクリックしてから「IP 取得」をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている。 → CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。親機の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 → CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらくウィザード（☛P3-20）でドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 → CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらくウィザード（☛P3-20）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN 側 IP アドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側 IP アドレス」をご確認ください。
IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。
→CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。
クイック設定 Web「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「要求する」のチェックを外します。
●CATV ケーブルモデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。
→次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。
（1）IP アドレスを確認します。
WAN 側：クイック設定 Web の「情報」－［現在の状態］の［WAN 側 IP アドレス］が"0.0.0.0"になっている
（2）IP アドレスを変更します。
クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、［OK］ボタンをクリックします。
パソコンを再起動します。</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、「0.0.0.0」になってしまう</td></tr>
</table>

7

お困りのときには

ユーティリティに関するトラブル

●らくらくウィザードに関する問題

症　状	原因と対策
Windows® XP/2000で、らくらくウィザードがインストールできない	●Administrator権限のあるユーザでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザではインストールが行えません。
らくらくウィザードのメニューボタンに押せないものがある	●親機の電源が入っていない。 →親機の電源が入っているか確認してください。 ●インストール時の設定が完了されていない場合は、一部のボタンは使えません。 ドライバのインストールが正しく行われていない場合は、最初に「ドライバのアンインストール」を実行して古いドライバを削除してから、らくらくウィザードを起動してドライバのインストールと基本の設定をやり直してください。
らくらくウィザードの「システムの状態」で「WARPSTARベースとの接続状態」が「確立されていません」と表示される	●親機との接続ができていません。C.らくらくウィザードで「WARPSTARベース（親機）との通信が確立されていません」または「WARPSTARに接続できませんでした」と表示されている（☛P7-4）を参照して親機との接続を確認してください。

症　状	原因と対策
らくらくウィザードの「システムの状態」で「サテライト（WL54AG）ドライバ」が「正しくインストールされていない」と表示される 	●子機（WL54AG）のドライバが正しくインストールされていません。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」をクリックする ②「各種ドライバのアンインストール」をクリックする ③画面の指示に従って、アンインストールを行う ④らくらくウィザードの「各種ドライバの設定と削除」－「各種ドライバのインストール」をクリックする ⑤画面の指示に従ってドライバをインストールする ●上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。 〈Windows® XP の場合〉 ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする ②［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをダブルクリックする ④［ハードウェア］タブをクリックする ⑤［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧［全般］タブで［ドライバの再インストール］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「子機の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® Me の場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［デバイスマネージャ］タブをクリックする ④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑤［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑥［全般］タブで［ドライバの再インストール］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「子機の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
らくらくウィザードの「システムの状態」で「サテライト（WL54AG）ドライバ」が「正しくインストールされていない」と表示される （つづき）	〈Windows® 2000 Professionalの場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［ハードウェア］タブをクリックする ④［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG)］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑦［全般］タブで［ドライバの再インストール］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「子機の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

●親機のクイック設定Webに関する問題

症　状	原因と対策
バージョンアップに失敗して、親機のPOWERランプが赤点滅している	●フラッシュROMに書かれているプログラム（ファームウェア）が消えています。 →NEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります（☞P8-13)。
管理者用パスワードを忘れてしまった	●親機を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます（☞P7-26)。 ただし、クイック設定Webの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（CD-ROM 機能詳細ガイド）
本商品のバージョンを確認したい	クイック設定Webで確認することができます。「情報」の「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］ボタンを押しても、状態が反映されない	●登録ボタンを押していない →各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の［登録］ボタンを押し、親機を再起動する必要があります。

症　状	原因と対策
［登録］ボタンを押した後に、「ページを表示できません」と表示される	●親機が再起動しているためです。 →［登録］ボタンを押すと、親機が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。
NetFront for ⊿を使ってクイック設定 Web の設定ができない	●NetFront for ⊿を使ってクイック設定 Web で設定を行えるのは、「4-2　インターネット接続のための基本設定」のみです。それ以外の設定は正しく動作しない場合があります。
WWW ブラウザの設定画面が表示されない	●パソコンの IP アドレスアドレスが正しく設定されているか確認してください。(☛P1-16) すでに WL54TE が、無線 LAN 等により DHCP サーバの存在するネットワークに接続されている場合は、WL54TE の IP アドレスが DHCP により変わってしまっている可能性があります。この場合は、ネットワーク内の DHCP サーバ（ルータや ADSL モデム等）の電源を切り、再起動したうえだ設定をしてください。DHCP サーバがない状態で WL54TE を再起動すると WL54TE の IP アドレスは工場出荷時の設定（192.168.0.205）に戻ります。

●サテライトマネージャに関する問題

症　状		原因と対策
子機（WL54AG）が使えない	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●親機の電源が入っているか確認してください。 ●親機の拡張カードスロットに無線 LAN カードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているかを確認してください。 ●通信モードがあっているか確認してください。親機との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして確認します。 ●ネットワーク名（ESS-ID）があっているか確認してください。 親機の設定値は、クイック設定 Web の「詳細設定」－「無線 LAN 側設定」内の「アクセスポイント設定」で確認できます。 ※親機の出荷時設定は、WARPSTAR-xxxxxx（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）です。 ●通信モードが「パソコン間通信」の場合は、チャネル番号が一致しているか確認してください。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●親機との距離が離れすぎていないか確認してください。

（次ページに続く）

●サテライトマネージャに関する問題

症　状		原因と対策
子機（WL54AG）が使えない（つづき）	［サテライトマネージャ］アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●子機のランプのつき方（☞P1-11、P1-12）を確認してください。 消灯している場合は子機が親機を正しく認識していません。らくらくウィザードの［インストール時の設定］－［Step2　無線カードのドライバインストールと無線設定］で親機との通信の設定をやり直してください。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。
	［サテライトマネージャ］は使える状態（青表示）になるが親機に接続できない	●データ保護を有効にしている場合は、親機と暗号化キーが一致しているか確認してください（☞P6-7、6-11、6-18）。 ●Windows® XP をご利用の場合は、［Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください（☞P6-16）。
	ネットワーク名を忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNET ポート）のパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください（☞P6-3）。 ●サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「スキャン」をクリックして親機を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できます。 ●本体背面のディップスイッチ設定による初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください（☞P7-26）。出荷時のネットワーク名の設定は「WARPSTAR-xxxxxx」になっています（xxxxxx は本体側面の MAC アドレスの下6桁）です。

症　状		原因と対策
子機（WL54AG）が使えない（つづき）	「ネットワークの参照」で親機がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で親機の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［新規登録］で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力してください。 ●クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］の「子機の接続制限」で「ESS-IDステルス機能」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ［新規登録］で直接ネットワーク名（ESS-ID）を入力してください。ETHERNET接続のパソコンから「子機の接続制限」を外して、「ネットワークの参照」で検索してください。 ●子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードまたはLANボードの機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードまたはLANボードの機能を停止させてから、らくらくウィザードの設定を行ってください（☛P3-14、3-15）。
	データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	●有線LAN（ETHERNETポート）に接続したパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］で設定し直してください（☛P6-3）。 ●親機を工場出荷状態に戻してください。暗号化がすべてクリアされます（☛P7-25）。
	無線状態が良好なのに通信できない	●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P7-22）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>時々通信が切れる</td><td rowspan="3">●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。</td></tr>
<tr><td>途中から通信速度が遅くなった</td></tr>
<tr><td>通信が切断されることがある</td></tr>
<tr><td>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx　は、ハードウェアのアドレスが….と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</td><td>●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。
＜IP アドレスの再取得＞
＜ Windows® XP の場合＞
①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す
③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
＜ Windows® Me/98 の場合＞
①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする
②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックする
③Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する
④［解放］をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認する
「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。
⑤［書き換え］をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
＜ Windows 2000® Professional の場合＞
①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックする
②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す
③IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</td></tr>
</table>

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モード、ローカルルータモード共通）	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、前ページを参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 前ページの「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （PPPoE モードの場合）	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない （ローカルルータモードの場合）	●ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム/回線終端装置と本商品の電源投入順序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP の解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●ETHERNET ポートに接続したパソコンから「使用チャネル」の番号を変更してください。 →クイック設定 Web を起動して［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］内の「アクセスポイント設定」の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが IEEE802.11g、IEEE802.11g+b モードの場倍、他の無線設備が使用しているチャネルから 3 チャネル以上空けるようにしてください。 ・無線動作モード IEEE802.11g+b モードの場合：設定値 1 ～ 13 ・無線動作モード IEEE802.11a モードの場合：設定値 34,38,42,46 ●親機と子機が近すぎる →子機（WL54AG）の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。（☛P6-12） その場合、遠くにある子機から接続しにくくなります。 →1m 以上離してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IP アドレスの再取得〉（☛P7-20）を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IP アドレスでお使いの場合は、親機と子機に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：親機が 192.168.0.1 のとき、子機は 192.168.0.X） ●LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください（☛P3-14、3-15）。
子機（WL54AG）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする（☛P6-12） ●ＡＶサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
本商品のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定 Web「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。 ・らくらくウィザード「システムの状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。
らくらくウィザードが使用できない	●次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <Windows® Me の場合> ①「スタート」「ファイル名を指定して実行（R）」をクリックする ②"winipcfg"を入力して［OK］をクリックする ③使用している Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから親機と接続しているアダプタ名 （Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）） を選択する ④「解放（S）」をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認する 「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤「書き換え（N）」をクリックして、IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する

症　状	原因と対策
らくらくウィザードが使用できない	<Windows® 2000 Professionalの場合> ①「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックする ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する <Windows® XP の場合> ①「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックする ②"ipconfig /renew"を入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレスが"192.168.0.xxx"になることを確認する

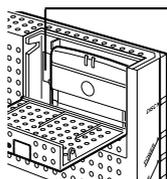
添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
メニュー画面を表示したくない	CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合はメニューの［終了］をクリックします。 ●Windows® XP/Me/2000 Professionalの場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。 ●Windows® Me/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます（ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります）。 ①［コントロールパネル］の［システム］をダブルクリックする ②［デバイスマネージャ］タブの［CD-ROM］をダブルクリックする ③使用する CD-ROM ドライブをクリックし、［プロパティ］をクリックする ④［設定］タブをクリックする ⑤［オプション］の［自動挿入］または［挿入の自動通知］のチェックを外す ⑥［OK］をクリックし、Windows® Me/98 を再起動する

7-2 親機を再起動する

本商品には電源スイッチはありません。
電源を切る場合は電源プラグを抜いてください。
親機の再起動が必要な場合は、リセットスイッチを押してください。

※ スイッチを押しても設定はクリアされません。
　設定をクリアする場合は、「7-3 親機を初期化する」（☛P7-25）をご覧ください。

＜開閉カバー内部＞

リセットスイッチ
親機を再起動するときに使用します。

7-3 親機を初期化する

初期化とは、親機に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。親機がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、親機を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する（☞下記）
ディップスイッチで初期化する（☞P7-26）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした親機のファームウェアはそのままです。

※ Aterm WR7600H ワイヤレスセット（TE）の場合は、初期化すると出荷時の設定がクリアされて親子間の通信ができなくなります。

クイック設定Webで初期化する

1 **パソコンを起動する**

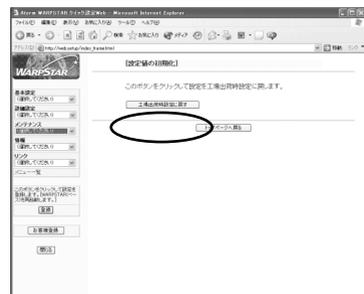
2 **WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く**

親機のIPアドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例： http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **[メンテナンス]の ▼ をクリックし、[設定値の初期化]を選択する**

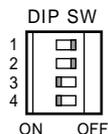
5 **[工場出荷時設定に戻す]をクリックする**

6 **[OK]をクリックする**

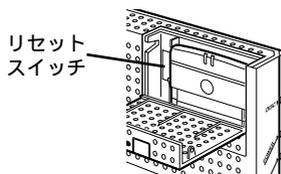
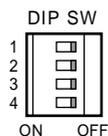
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

ディップスイッチで初期化する

親機のディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、背面にあります。

1 親機の背面のディップスイッチの3、4を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

2 親機のリセットスイッチを押す

前面ランプが交互に点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

3 ディップスイッチの3、4を「OFF」に戻す

4 親機のリセットスイッチを押す

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

お願い

●親機の設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

●暗号化を行っていた親機を初期化した場合、暗号化の設定も初期化されるので、子機から親機に接続できなくなります。子機の暗号化設定を解除してください。

●ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

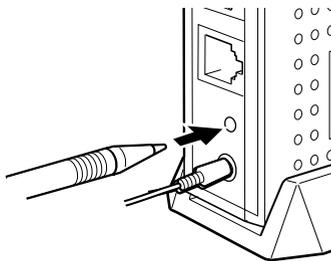
7-4　子機（WL54TE）を初期化する

WL54TEに設定した内容を消去して初期値にします。WL54TEがうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL54TEを初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
また、ワイヤレスセットの場合は、初期化すると工場出荷時の設定（無線設定、ネットワーク名、暗号化キーの設定）が消去されますので再設定が必要になります。

スイッチで初期化する

1 **WL54TEの電源が入っていることを確認する**

2 **WL54TEの背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで5秒押す**

（AIRランプが橙点灯し、3秒以上でリセットスイッチが有効になります。）

3 **リセットスイッチからボールペンなどをはなす**

■ WL54TE の初期値

WL54TE を初期化すると、次のような設定になります。

<table>
<tr><th colspan="3">設定項目</th><th>工場出荷時の設定値
（ワイヤレスセットの場合）</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td rowspan="10">無線設定</td><td colspan="2">通信モード</td><td>アクセスポイント通信モード</td><td>アクセスポイント通信モード</td></tr>
<tr><td colspan="2">無線モード</td><td colspan="2">自動的に親機（アクセスポイント）の設定に従います</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワーク名（ESS-ID）</td><td>無線 LAN 設定ラベル（本体底面に貼付）に記載</td><td>WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は MAC アドレスの下６桁）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用するチャネル</td><td colspan="2">自動的に親機（アクセスポイント）の設定に従います</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗号化モード</td><td>WEP</td><td>使用しない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">暗号化キー</td><td>キー 1</td><td>無線 LAN 設定ラベル（本体底面に貼付）に記載</td><td rowspan="4">未設定</td></tr>
<tr><td>キー 2</td><td rowspan="3">未設定</td></tr>
<tr><td>キー 3</td></tr>
<tr><td>キー 4</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用する暗号化キー</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td colspan="2">IP アドレス（DHCP 無効時）</td><td>192.168.0.205</td><td>192.168.0.205</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ネットマスク（DHCP 無効時）</td><td>255.255.255.0</td><td>255.255.255.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">管理者設定</td><td colspan="2">管理者名</td><td>admin</td><td>admin</td></tr>
<tr><td colspan="2">管理者パスワード</td><td>未設定</td><td>未設定</td></tr>
</table>

お知らせ

●ワイヤレスセットの場合、無線設定・ネットワーク名・暗号化キーの設定は、WL54TE 底面に貼付のラベルに記載されています。ワイヤレスセットの工場出荷時への設定方法については、つなぎかたガイドを参照してください。

7-5 自己診断

自己診断を行うと、親機のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

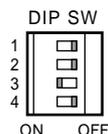
お願い

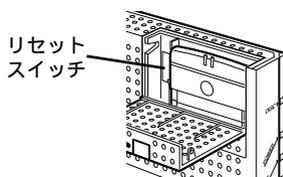
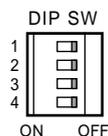
●自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

自己診断を行う

1 **親機の ETHERNET ポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取り外す**

2 **ディップスイッチの 3 を「ON」にする**

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。

3 **親機のリセットスイッチを押す**

自己診断を開始します。
＜診断中のランプ表示＞
POWER ランプが橙色に点灯します。
↓
正常に終了すると「ピピピ…」とブザーが鳴り、POWER ランプが橙色／緑色と交互に点滅します。

4 **ディップスイッチの 3 を「OFF」に戻す**

5 **親機のリセットスイッチを押す**

電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

6 **取り外したケーブルを接続する**

お願い

●ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

異常が発見されたときは

●自己診断の手順4で、正常に終了せず、異常が発見されたときは、最寄りのNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。（☛P8-13）

8

付録

8

8-1 製品仕様

WR7600H（親機）ハードウェア仕様

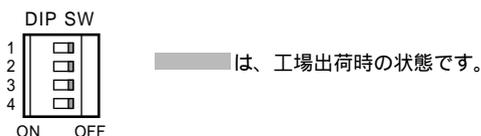
項　目			諸元および機能	備　考
WAN インタフェース	**インタフェース**		ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX/10BASE-T）	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度		100Mbps/10Mbps	
LAN インタフェース	**物理インタフェース**		8 ピンモジュラージャック（RJ-45）×4 ポート	
	インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度		100Mbps/10Mbps	
	スイッチング HUB		ストア&フォワード方式、Mac アドレス数：1024（自動学習）	
	全二重／半二重		全二重／半二重	自動切換
無線 LAN インタフェース	**IEEE802.11a**		周波数帯域/チャネル	5.2GHz 帯（5150-5250MHz）/34.38.42.46ch
			伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
			伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
			伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)～90m(6Mbps) ※屋外使用禁止
	IEEE802.11g		周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2484MHz）/1～13ch
			伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
			伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
			伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)～180m(1Mbps) IEEE802.11g+b 通信モードのみ
	IEEE802.11b		周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2400-2484MHz）/1～13ch
			伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
			伝送速度	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）
			伝送距離	［見通し］50m(11Mbps)～180m(1Mbps)
	アンテナ		ダイバーシティアンテナ（内蔵）	
	セキュリティ		ESS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）	
ヒューマンインタフェース	**状態表示ランプ**	**DISC**	WAN 側と接続中点灯	
		POWER	電源通電時点灯	
		PPP	PPP セッション確立時点灯	
		DATA/AIR	データ通信時点灯	
動作環境			温度 0～40℃　湿度 10～90%	結露しないこと
外形寸法			約 25（W）× 157（D）× 215（H）mm	突起部分を除く
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz	
消費電力			最大約 8W	
質量(本体のみ)			約 0.6kg	
VCCI			VCCI クラス B	

※表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。
※Windows ® XP のワイヤレスネットワークの設定は、親機の暗号化モードが暗号化無効または、64bit/128bit WEP の場合のみ利用可能です。

親機のディップスイッチ

親機の背面にディップスイッチ（DIP SW）があります。ディップスイッチは以下の①～④の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

①自己診断するとき（☛P7-29）
②購入したときの状態に戻すとき（☛P7-25）
③HUB モードを利用するとき（☛P6-43）
④IEEE802.11a 専用通信モードを利用するとき（☛P6-51）

●ディップスイッチ工場出荷時の設定

●ディップスイッチの変更

1	2	3	4	内容
OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	**ON**	OFF	自己診断
OFF	OFF	**ON**	**ON**	購入したときの状態に戻す（初期化）
OFF	**ON**	OFF	OFF	HUB モード
ON	OFF	OFF	OFF	802.11a 専用通信モード

は、工場出荷時の状態です。

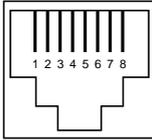
お願い

●ディップスイッチはスイッチの根元に力を加えて切り替えてください。

お知らせ

●電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源プラグをいったん取り外し、再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

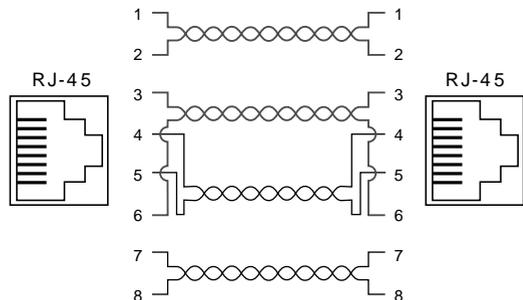
親機のETHERNETポートインタフェース

コネクタ形状

●ETHERNETポート
（100BASE-TX／10BASE-T）

ピン番号	略称	機能
1	RD＋	受信データ　＋
2	RD－	受信データ　－
3	TD＋	送信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD－	送信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

●ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD＋	送信データ　＋
2	TD－	送信データ　－
3	RD＋	受信データ　＋
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD－	受信データ　－
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNETケーブル（カテゴリー5）

WL54AG（子機）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸　元		備　考
端末インタフェース		Card Bus		
無線LAN インタフェース	**IEEE802.11a**	周波数帯域/ チャネル	5.2GHz帯（5150-5250MHz） /34.38.42.46ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)〜90m(6Mbps) ※屋外使用禁止	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz） /1〜13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)〜180m(1Mbps) 親機がIEEE802.11g+b通信モードのときのみ	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2497MHz） /1〜14ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度（※1）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
		伝送距離	［見通し］50m(11Mbps)〜180m(1Mbps)	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ	ESS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×2		
利用可能端末		PC-AT互換機		
利用可能OS		Windows® XP日本語版（※2） Windows® Me日本語版 Windows® 2000 Professional日本語版		
電源		DC3.3V×710mA		パソコンから給電
消費電力		約2.4W（最大）		
外形寸法（mm）（W×H×D）		約54×5×118		
質量		約0.05kg		
動作環境		温度0〜40℃　湿度10〜90％		結露しないこと

※1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。
※2　Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定は、親機の暗号化モードが暗号化無効または、64bit/128bitWEPの場合のみ利用可能です。

WL54TE（子機）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）× 2 ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T（Auto MDI-X 対応）	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重／半二重	全二重／半二重（自動切換）	
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）／34/38/42/46ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps)～90m(6Mbps) ※屋外使用禁止
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］20m(54Mbps）～180m(1Mbps) ※IEEE802.11g+b モード
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch
		伝送方式	DSSS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）
		伝送距離	［見通し］50m(11Mbps）～180m(1Mbps)
	アンテナ	ダイポールアンテナ	
	セキュリティ	ESS-ID、WEP(152/128/64bit)、WPA-PSK（TKIP/AES）	
	通信モード	アクセスポイント通信、パソコン間通信	

※　表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

（次ページに続く）

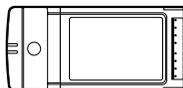
8 付録

8-1　製品仕様

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th>諸元および機能</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ヒューマン
インタ
フェース</td><td rowspan="5">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td>電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>LAN1</td><td>LAN1ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100Base-TX時緑点灯、10Base-T時橙点灯</td></tr>
<tr><td>LAN2</td><td>LAN2ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100Base-TX時緑点灯、10Base-T時橙点灯</td></tr>
<tr><td>AIR</td><td>IEEE802.11a無線リンク確立時橙遅点灯、
IEEE802.11b/IEEE802.11g無線リンク確立時緑遅点灯、
データ送受信時早点滅
リセットスイッチ押下中およびファームウェアのバージョンアップ中橙点灯</td></tr>
<tr><td>リセット
スイッチ</td><td>リセットスイッチ×1</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td>AC100V±10%　50/60Hz（ACアダプタ使用：出力12V、1A）</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td>最大約8W</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td>約30（W）×109（D）×97（H）mm（突起部分を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量（本体のみ）</td><td>約0.2kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">動作環境</td><td>温度0～40℃　湿度10～90%（結露しないこと）</td></tr>
</table>

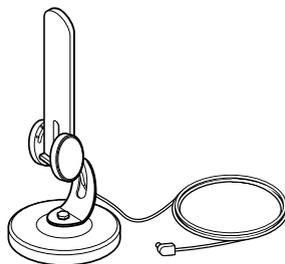
8-2 別売りオプション

ワイヤレスLANセットのオプションとして次の製品を別売しています。(製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。)

■ ワイヤレスLANカード
Aterm WL54AG(PA-WL/54AG)

Aterm WL54AC(PA-WL/54AC)
Aterm WL11CB(PC-WL/11C(B))
Aterm WL11CA(PC-WL/11C(A))
Aterm WL11C(PC-WL/11C)
Aterm WL11C2(PA-WL/11C2)
子機として増設できます。
※WL11Cでの暗号化は通常のWEP(64bit)になります。

■ ワイヤレスLAN USBボックス
Aterm WL11U(PC-WL/11U)
Aterm WL11U(W)(PC-WL/11U(W))
子機として増設できます。
パソコンとUSBで接続します。
※WL11U/WL11U(W)での暗号化は通常のWEP(64bit)になります。

■ ワイヤレスLAN ETHERNETボックス
Aterm WL11E2(PA-WL/11E2)
Aterm WL54TE(PA-WL/54TE)
子機として増設できます。
パソコンとETHERNETケーブルで接続します。

■ ワイヤレスLAN 外部アンテナ
(WL54AG用)(PA-WL/ANT3)
電波状態が悪いときなど、親機または子機(WL54AGのみ)に接続して使用します。
ただし、周囲の電波状況や壁の構造(鉄筋壁、防音壁、断熱壁)などにより、改善状態は異なります。(改善できないこともあります。)

 お知らせ

●オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップShop@Aterm(http://shop.aterm.jp/)でもご購入いただけます。

8-3 お問い合わせ・アフターサービス

ホームページ「AtermStation」

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

PC クリーンスポットの訪問サポート

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

修理について

■修理

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

持ち込み修理先一覧

■NEC保守サービス受付拠点一覧（2003年9月1日現在）

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

都道府県名

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

8
付録

8-4 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付の CD-ROM（「ユーティリティ集」）に収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

用語	解説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速（下り 1.5 ～ 12Mbps）で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation（エータームステーション）	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121 ware.com/aterm/（2003 年 11 月現在）。
BIGLOBE（ビッグローブ）	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.0.10）。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	PPP over ATM の略。高速交換システムで使用される ATM（Asynchronous Transfer Mode）の上で PPP 通信を行うための接続方式。ATM 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。 ADSL でも PPPoE と並び使用される通信方式。
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。
UPnP	Universal Plug and Play（ユニバーサルプラグアンドプレイ）の略で、XML 技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。 ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PnP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。

【あいうえお順】

【あ行】

アップリンクポート	カスケード接続用ポートとも呼ばれる。100BASE-TX/10BASE-T の接続の方向を示すもので、インターネットやＷＡＮなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクという。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ／ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替える。

【か行】

クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

8-5 索引

[ア行]

[カ行]

[サ行]

8 付録

[タ行]

[ナ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

[ラ行]

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

AtermStationホームページアドレス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

安心の保守サービス体制

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WR7600Hシリーズ取扱説明書　第3版

ND-23175（J）-02
2003年11月